

インテリア科

- ・履修科目表
- ・卒業・進級要件
- ・履修判定試験および評価方法
- ・シラバス（授業概要）

ディプロマポリシー

インテリアを構成するエレメントを理解した上で、住空間をトータルに提案できる技術者

<https://tec.ttc.ac.jp/departments/interior-design/diploma-policy>



学校法人 小山学園

専門学校 東京テクニカルカレッジ

履修科目履修時間表 インテリア科 (実務経験のある教員が担当する科目)

2025年度入学生用
東京テクニカルカレッジ

作成日 2016/2/18

変更日

※「1履修時間」は実時間で45分とする。また、
「1授業時間(1コマ)」は2履修時間(実時間で90分)とする。
※履修時間を単位数で換算する場合は、講義科目にあっては15履修時間、実習科目にあっては30履修時間をそれぞれ1単位として換算する。

分類	大講義科目	中一般教養基礎講義	番号	必修選択	教育科目名	単位数	1年次					2年次					実務経験※1	備考																																								
							1期	2期	3期	4期	5期	1期	2期	3期	4期	5期																																										
			01	◎	専門導入1	2	30										○																																									
			02	◎	専門導入2	1	15											○																																								
			03	◎	建築概論1	1	15												○																																							
			02	◎	建築概論2	2	30												○																																							
			03	◎	人間工学	1		15												○																																						
			04	◎	環境工学	1			15											○																																						
			05	◎	建築史1	1		15												○																																						
			06	◎	建築史2	1			15											○																																						
			07	◎	建築史3	1				15										○																																						
			08	◎	建築設備1	1				15										○																																						
			09	◎	建築設備2	1					15									○																																						
			10	◎	建築構造1	1					15									○																																						
			11	◎	建築構造2	1						15								○																																						
			12	◎	建築施工1	1							15							○																																						
			13	◎	建築実務1	1					15									○																																						
			14	◎	建築実務2	1						15								○																																						
			15	◎	建築計画1	1							15							○																																						
			16	◎	建築計画2	1		15												○																																						
			17	◎	建築計画3	1		15												○																																						
			18	◎	建築計画4	1			15											○																																						
			19	◎	建築計画5	1			15											○																																						
			20	◎	建築計画6	1				15										○																																						
			01	◎	建築計画7	1					15									○																																						
			02	◎	建築計画8	1							15							○																																						
			03	◎	建築計画9	1						15				15				○																																						
			04	◎	建築計画10	1								15						○																																						
			05	◎	建築材料1	1						15								○																																						
			07	◎	建築材料2	1							15							○																																						
			08	◎	建築材料3	1								15						○																																						
			09	◎	建築材料4	1									15					○																																						
			10	◎	建築材料5	1									15					○																																						
			11	◎	建築法規1	1										15				○																																						
			12	◎	建築法規2	1											15			○																																						
			13	◎	構造力学1	1												15		○																																						
			14	◎	構造力学2	1													15	○																																						
			15	◎	資格対策講座1	1				15										○																																						
			16	◎	資格対策講座2	1				15										○																																						
			17	◎	資格対策講座3	1					15									○																																						
			18	◎	資格対策講座4	1						15								○																																						
			19	◎	資格対策講座5	1							15							○																																						
			20	◎	資格対策講座6	1								15						○																																						
			21	◎	資格対策講座7	1									15					○																																						
			22	◎	資格対策講座8	2										30				○																																						
			23	◎	資格対策講座9	1	15													○																																						
			24	◎	資格対策講座10	1		15												○																																						
			25	◎	資格対策講座11	1						15								○																																						
			26	◎	資格対策講座12	1							15							○																																						
27	◎	資格対策講座12	1								15						○																																									
																				01	◎	建築設計製図1	1		30										○																							
																				02	◎	建築設計製図2	1			30										○																						
																				03	◎	建築設計製図3	1				30										○																					
																				04	◎	建築設計製図4	1					30									○																					
																				05	◎	建築設計製図5	1	30													○																					
																				06	◎	建築設計製図6	1		30												○																					
																				07	◎	建築設計製図7	1				30										○																					
																				08	◎	建築設計製図8	1					30									○																					
																				09	◎	建築立体実習1	1		30												○																					
																				10	◎	建築立体実習2	1.5			45											○																					
																				11	◎	建築立体実習3	1				30										○																					
																				12	◎	建築表現技法1	1				30										○																					
																				13	◎	建築表現技法2	1.5					45									○																					
																				14	◎	建築造形実習1	1				30										○																					
																				15	◎	建築造形実習2	2					60									○																					
																				16	◎	建築造形実習2	2						60								○																					
																				01	◎	建築設計製図9	1						30								○																					
																				02	◎	建築設計製図10	1							30							○																					
																				03	◎	建築設計製図11	1								30						○																					
																				04	◎	建築設計製図12	1									30					○																					
																				05	◎	建築設計製図13	1										30				○																					
																				06	◎	建築設計製図14	1						30								○																					
																				07	◎	建築設計製図15	1							30							○																					
																				08	◎	建築表現技法3	1.5										45				○																					
																				09	◎	建築造形実習3	1											1			○																					
																				10	◎	建築表現技法4	1.5												45		○																					
																				11	◎	建築造形実習4	1													1	○																					
																				12	◎	測量実習	1												30		○																					
																				13	◎	建築設計製図16	1													30	○																					
																				14	◎	リアルジョブプロジェクト1	1		30												○																					
																				01	◎	リアルジョブプロジェクト2	1			30											○																					
																				02	◎	リアルジョブプロジェクト3	1				30										○																					
																				03	◎	リアルジョブプロジェクト4	1					30									○																					
																				04	◎	リアルジョブプロジェクト5	1						30								○																					
																				05	◎	リアルジョブプロジェクト6	1							30							○																					
																				06	◎	リアルジョブプロジェクト7	1								30						○																					
																				07	◎	リアルジョブプロジェクト8	1									30					○																					
																				08	◎	リアルジョブプロジェクト8	1										30				○																					
																				09	◎	リアルジョブプロジェクト8	1											30			○																					
																																								01	◎	インテリアコーディネーター集中講座1	1			30										○		
																																								02	◎	インテリアコーディネーター集中講座2	1														○	
																																								01	△	海外短期留学研修1	3		90													
																																								02	△	海外短期留学研修2	3										90					
																																								03	△	建築・インテリア海外研修1	3						90									
																																								04	△	建築・インテリア海外研修2	3													90		
05	△	国内建築研修1	1							30																																																
06	△	国内建築研修2	1													30																																										
07	△	国内環境研修1	2						60																																																	
08	△	国内環境研修2	2														60																																									
09	◎	フレッシュマン研修		12																																																						
02	◎	学園祭準備・片付け							24							24																																										
03	◎	学園祭							16							16																																										
04	◎	就職ガイダンス1			8																																																					
05	◎	就職ガイダンス2				8																																																				
06	◎	就職ガイダンス3					8																																																			
07	◎	就職ガイダンス4						8																																																		
08	◎	就職ガイダンス5							8																																																	
09	◎	就職ガイダンス5								8																																																
期時間数(総単位数)							-	135	195	225	225	255	135	210	165	210	165																																									
学年必要履修時間数(総単位数)							-	1035										885																																								
総必要履修時間数(総単位数)							89	1920																																																		
選択科目履修時間数・単位数							-		90				180		90			180																																								
学年総時間数(総単位数)							-	135	285	225	225	435	135	300	165	210	345																																									
学年総時間数(総単位数)							-	1305										1155																																								
総時間数(単位数・校外単位自習型を除く)							107	2460																																																		
実務経験を有する教員が担当する期時間数							-	135	195	225	225	255	135	210	165	210	165																																									
実務経験を有する教員が担当する期時間数(割合)							-	1920(100%)											※実務経験を有する教員が担当している割合																																							

・成績評価及び卒業要件

<履修評価（合否判定）の方法>

①科目の合否

本校では、科目の合否は原則的に履修判定試験のみでおこない、60%の理解度をもって合格とする。
履修判定試験は「筆記試験」・「実習試験」でおこなわれるが、作品制作やレポートなど普段の授業の中でおこなわれる提出物の評価を履修判定試験内で評価することがある。
その場合の評価の方法については、講義概要（コマシラバス）の中に明記される。

②未受験者・試験不合格者の処置

A：以下のものには追試をおこなう。

- 1.公認欠席（忌引き等）に該当する者が試験を受験しなかった場合。
 - 2.病気等で通院・入院・自宅安静をしており試験当日登校できない事由が証明できる者。
- 追試の時期は各科の科長が別途日程を定めて実施する。

B：試験に不合格になった学生及び正当な理由無しに未受験となった学生に対して、原則再試はおこなわない。

ただし、不合格となった科目の単位数に応じた枚数のチケットを取得した上で、担当教員の補習授業が終了した者については、再試をおこなう。
チケットの取得方法に関しては、別途細則で定める。

③履修判定試験の運営

履修判定試験を受験しようとする者は試験会場に5分以上前に入室し、机上に学生証など身分を示す物を提示する。
試験会場では、試験監督官の指示に従って行動する。
試験開始後20分以上経過した場合には、その試験の受験資格を失う。
試験中に監督官から不正行為を指摘された場合には直ちに教室から退室する。この場合は当該科目を不合格とする。

<成績評価およびその客観的な指標について>

履修判定試験の結果が100点～80点のものをA（合格）、79点～70点のものをB（合格）、69点～60点のものをC（合格）、59点以下のものをD（不合格）として成績評価とする。
このA～Dの評価を、A＝3点、B＝2点、C＝1点、D＝0点として各科目の成績を点数化のうえ合計し、総科目数で割り指標数値を算出して各科の成績分布の指標とする。

<進級について>

①進級

進級学年の学生は「履修時間表」に記載された当該年度の履修科目を全て履修した場合に進級できる。

②準進級

進級学年の学生は「履修時間表」に記載された当該年度までの履修科目の内、不合格・未受験等で履修できなかった科目の時間数（単位数）の合計が、「履修時間表」に記載された卒業までに履修しなければならない総時間数（総単位数）の2割を超えない場合は、次の学年に進級できるが、これを準進級とし進級者と区別する。

③留年

進級学年の学生は「履修時間表」に記載された当該年度までの履修科目の内、不合格・未受験等で履修できなかった科目の時間数（単位数）の合計が、「履修時間表」に記載された卒業までに履修しなければならない総時間数（総単位数）の2割を超えた場合は留年となり、その年に取得した全ての単位が無効となり次年度同一学年で学習しなければならない。

④進級・準進級・留年の決定

進級・準進級・留年の最終判断は、進級公示前までに校長がおこない学籍に記録する。

<卒業について>

①卒業

「履修時間表」に記載された卒業に必要な履修科目を全て履修した場合に卒業できる。

②科目留年

卒業学年の学生は「履修時間表」に記載された卒業に必要な履修科目の内、不合格・未受験等で履修できなかった科目の時間数（単位数）の合計が、卒業までに履修しなければならない総時間数（総単位数）の2割を超えない場合は、科目留年となる。

科目留年となった場合は、それまでに取得した全ての科目の単位数はそのままとなり、不合格となった科目のみ次年度再履修することで卒業することができる。

科目留年における在籍料・科目履修費用などを含めた事務的な手続きは別途細目で定める。

③留年

卒業学年の学生は「履修時間表」に記載された卒業に必要な履修科目の内、不合格・未受験等で履修できなかった科目の時間数（単位数）の合計が、卒業までに履修しなければならない総時間数（総単位数）の2割を超えた場合は留年となり、その年に取得した全ての単位が無効となり次年度同一学年で学習しなければならない。

準進級者が留年した場合でも、準進級の原因となった当該年度以前に未履修となった科目について、当該科目の再履修免除はない。

④卒業・科目留年・留年の決定

卒業・科目留年・留年の最終判断は、卒業公示前までに校長がおこない学籍に記録する。

No	3051101	科目コード	1010101
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：現在の実務では、パソコンを使つての業務が増えてきており、社会に出てから業務に支障をきたさぬようパソコンの基本的な設定や操作を身に付けます。	
年度	2025年度	学習内容：キーボードから文字入力や、インターネットの参照、メールの書き方、ネットに従ったパソコンの使用方法和、Wordを利用して日本語の入力方法、文章の編集などを学習します。	
学年	1年次		
期	1		
教科名	専門導入	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	専門導入1	01) パソコンを長く使用するための基本的な扱い方を理解し、パソコンの電源のON、OFFができる。	
単位	2	02) アプリを使用して作成したファイルの管理方法を身に付けることができる。	
履修時間	30	03) ネットワーク利用基準を理解し、校内ネットワーク、インターネットを使用して様々な情報を知ることができる。	
回数	15	04) 様々な著作物が著作権によって守られていることがわかる。	
必修・選択	必修	05) Notesの設定方法、使用方を正しく理解し、学内ネットワークを利用して授業の情報をつかむことができる。	
省庁分類	-	06) Notes、Google Workspaceを使用してメールの送信・受信ができる。	
授業形態	講義	07) 自分のパソコンを守るために、パスワード、セキュリティソフト、パソコンを最新の状態に保つ重要性がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) MS Wordを使用して、日本語入力や、文章の作成・編集ができる。	
教科書	情報リテラシー・サブテキスト	09) MS Wordを使用して、図形や罫線、表をレイアウトすることができる。	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・提出課題）において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	①②		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051102	科目コード	1010201
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：現在の実務では、パソコンを使つての業務が増えてきており、Microsoftのアプリ（Excel、PowerPoint）は実務で良く使用されるため、基本的な操作を身に付けます。	
年度	2025年度		
学年	1年次	学習内容：Excelによるデータの管理方法を学習し、リスト作成や、データ集計、グラフの作成ができ、PowerPointを使用して、写真、文章、図などをまとめてプレゼンテーションのｽﾗｲﾄﾞが作成できるように学習します。	
期	1		
教科名	専門導入	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	専門導入2	01) MS Excelを使用して、起動・終了の仕方を理解し、文字や数値入力ができる。	
単位	1	02) MS Excelを使用して、セルの情報を読み取れるようになり、表計算ができる。	
履修時間	15	03) MS Excelを使用して、入力した数値からグラフを作成したり、条件付きの表計算ができる。	
回数	8	04) MS PowerPointを使用して、起動・終了の仕方を理解し、文字入力ができる。	
必修・選択	必修	05) MS PowerPointを使用して、文字だけでなく画像を挿入して、アニメーションの操作ができる。	
省庁分類	-	06) MS PowerPointを使用して、グラフ、図形、動画の挿入ができる。	
授業形態	講義	07) MS PowerPointを使用して、プレゼンテーション用の資料が作成できる。	
作成者	高山寿一郎	08)	
教科書	30時間でマスターOffice2016	09)	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・提出課題）において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	①②		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051103	科目コード	1020101
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアを学習するものとして、インテリア業界の概要と今のインテリアに関連する代表的なキーワードを知ることは、今後のインテリアの学習をするうえで必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：学生参加型授業で、各自がインテリアに対する興味や意欲を発表、インテリアに関連する代表的なキーワードをグループで調べて発表をしてもらい、これからのインテリアの学習への興味・やる気を高めていくことを目指します。	
学年	1年次		
期	1		
教科名	建築概論	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築概論1	01) 各自が選んだインテリアの写真から、具体的なインテリア構成要素がわかる。	
単位	1	02) 重要なキーワードについて自ら調べ、インテリアに関する情報の大切さがわかる。	
履修時間	15	03) 建築関連の業界の全体像、主な仕事内容、代表的な会社などがわかる。	
回数	8	04) インテリアエレメント業界と小売業の全体像、主な仕事内容、代表的な会社などがわかる。	
必修・選択	必修	05) どこにどんな仕事があるか、それに必要な資格についてわかる。	
省庁分類	-	06) これからインテリアのプロを目指す者として、業界では常識といえるキーワードがわかる。	
授業形態	講義	07) 環境、高齢化社会、トレンドなど、専門知識を学ぶ必要性がわかる。	
作成者	鈴木俊恵	08) 情報の収集方法など、これから自ら「学ぶ」方法がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 今知らないことは恥ずべきことではなく、これからインテリアに関する引き出しを多く持つ事が重要だとわかる。	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	④⑤⑥⑦		
備考	インテリアコーディネーターの業務でのインテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051104	科目コード	1020201
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアを学習するものとして、住宅・インテリア分野を中心にこれからの住宅像やライフスタイル、またそれらに基づく住宅の設計方法の知識を身に付けることは必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：インテリアコーディネーターの実務的役割、これからの住宅の様式を学習します。また、建築家前川國男の自邸を見学・調査し、パワーポイントでプレゼンテーションをおこないます。	
学年	1年次		
期	1		
教科名	建築概論	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築概論2	01) インテリアコーディネーターの実務的役割と少子高齢社会における女性が働く意味がわかる。	
単位	2	02) これからの生活のキーワード「ロハス」「エコロジー」「スローライフ」の歴史的背景や意味がわかる。	
履修時間	30	03) 住宅の中心がリビングからDK空間に移行している社会的背景を理解し、これからのDK像をイメージできる。	
回数	15	04) これからの住宅のエネルギー計画（スマートハウス・バグgingソーラーハウス・エナジシステム等）の概要がわかる。	
必修・選択	必修	05) これからの環境共生型住宅（屋上液面緑化・ビオトープ・コンポスト・雨水利用等）の概要がわかる。	
省庁分類	32. ⑩その他	06) 介護保険制度を背景の生まれ育った福祉住環境コーディネーターの資格制度と社会的役割がわかる。	
授業形態	講義	07) 少子高齢社会や介護保険制度を背景としたこれからの住宅リフォームの動向がわかる。	
作成者	大室浩明	08) 前川邸の見学・調査を通して前川邸の歴史的背景、建築概要、前川國男の作品とその特徴がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 前川邸の調査結果をパワーポイントを使用してプレゼンテーション（8枚程度）として作成できる。	
確認者	高山寿一郎	10) 上記のパワーポイントで作成したプレゼンテーションを発表（8分程度）でき質疑応答に答えることができる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑧⑨		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051105	科目コード	1032301
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：色が見える仕組みや色の分類、伝達法、混色、見え方、心理効果、配色方法等の知識を学習することにより、インテリアの提案・ファッションや商品パッケージなど様々なデザイン領域のカラーコーディネートに応用・活用することができます。	
年度	2025年度	学習内容：色を実際のデザインに活かしていくには、理論を学ぶことが必要です。インテリアデザイナー資格試験の試験範囲ともなるので、インテリアの勉強を始める初学者として色の知識を身に付けていきます。	
学年	1年次		
期	1		
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	資格対策講座9	01) 色のはたらきと色の表示方法がわかる。	
単位	1	02) 有彩色と無彩色の分類がわかる。色の三属性（色相、明度、彩度）がわかる。	
履修時間	15	03) 等色相面、純色、清色、中間色、色立体、表色系とは何かがわかる。	
回数	8	04) PCCSがわかる。PCCSの基本的な考え方と表示方法がわかり、PCCSの色を三属性で捉えることができる。	
必修・選択	必修	05) マンセル表色系がわかる。マンセル表色系の基本的な考え方と表示方法がわかる。	
省庁分類	-	06) オストワルト表色系がわかる。オストワルト表色系の基本的な考え方と表示方法がわかる。	
授業形態	講義	07) PCCSを使用した色彩調和（配色のルール）がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) 配色の基本的な考え方、色相を手がかりにした配色、トーンを手がかりにした配色がわかる。	
教科書	色彩能力検定対策テキスト3級編	09) 色相とトーンを組み合わせた配色、アクセントカラー、セパレーション、グラデーションがわかる。	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	④⑤⑥⑦		
備考	パーソナルカラー研究所等の色彩に関する業務を行う団体に所属し、色彩全般の知識を活かし科目を担当。		

No		3051106	科目コード	2020501
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：デザイナーが自分の考えを表現する際に、図面の読み描きの知識は必要になります。建築・インテリア業界において今現在最も広く用いられているPCを使用してのCADでの製図手法を身に付けます。		
年度	2025年度	学習内容：AutoCADの基本的な操作である線分の作成方法、線分の編集方法、文字の作成方法、寸法の作成方法、印刷方法、図面を作成する際の縮尺の概念を学習します。		
学年	1年次			
期	1			
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築設計製図5	01) CAD操作の基本的な流れを理解し、オブジェクト（線分など）を作成することができる。		
単位	1	02) CAD内での座標の概念を身に付け、絶対座標と相対座標の違いを理解し操作することができる。		
履修時間	30	03) 複雑な図形の作成方法と、オブジェクトの長さ・形状などを編集できる。		
回数	15	04) CADで使用する、画層概念と利用方法、オブジェクトの属性の確認の仕方がわかる。		
必修・選択	必修	05) オブジェクトの場面に適した複写と移動ができる。		
省庁分類	-	06) 文字・寸法のスタイルを作成し、文字・寸法の記入ができる。		
授業形態	実習	07) マンションの立面図をととして、建築の用語、法規がわかる。		
作成者	高山寿一郎	08) 様々なコマンドを使用して、図面を見ながら同じものを作成できる。		
教科書	基礎から学ぶ建築CAD・サブテキスト	09) 図面枠の重要性を理解し、2年間使用する自分専用の図面枠を作成できる。		
確認者	高山寿一郎	10) 自分のパソコンから印刷が出来るように設定をし、決められた縮尺、用紙サイズで印刷できる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	①			
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。			

No	3052101	科目コード	1020301
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリア・生活空間の形等を考えるときの中心となるのは人間です。人体寸法や動作・行動の特性を知り、人間と物質系の間で安全で使いやすい関係を追求し、インテリア計画に応用できるように学習します。	
年度	2025年度	学習内容：インテリアをかたちづくる寸法を分析し、寸法決定のポイントを理解します。「人間工学」の基本的な考えを理解しインテリアへの応用を学び、インテリア・デザイン・インテリアコーディネートにおける美しく合理的な計画手法の礎を学びます。	
学年	1年次		
期	2		
教科名	人間工学	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	人間工学	01) 長さの単位とメートル法・尺貫法、面積の単位とメートル法・尺貫法等の寸法の単位がわかる。	
単位	1	02) 人体寸法、動作寸法、集団の寸法、物品の寸法、平面、断面の設計寸法等の寸法計画がわかる。	
履修時間	15	03) モジュールの意味、モジュールの種類と特徴、モジュール・コード・イェーション等のモジュールの意義がわかる。	
回数	8	04) 日本の伝統的モジュール、モジュール、尺・メートル、材料、工業製品のモジュール等、様々なモジュールがわかる。	
必修・選択	必修	05) 人間工学の定義、人間工学の効用を理解し、人間工学のインテリア・デザインへの応用ができる。	
省庁分類	20. ②建築計画	06) 静・動的人体寸法、人体寸法概算値、水平・垂直・立体作業域等の人体寸法への応用がわかる。	
授業形態	講義	07) 最小空間、必要空間、単位空間、生活行為と空間領域等の動作空間と単位空間がわかる。	
作成者	丸山千春	08) ホビ・ユルーション・ストライク、距離と人間の集合、占める位置、物理・心理尺度を説明できる。	
教科書	サブテキスト	09) 椅子・机の設計、ベッドの設計、作業台等の設計、座位、臥位、立位への応用を理解し説明できる。	
確認者	高山寿一郎	10) 錯視、地と図、統一、調和、均衡、比例、律動等、造形美の原理がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	①②③		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052102	科目コード	1020501
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：日本や世界のインテリア・デザインやインテリアコーディネート造形の背景を把握し、設計実習やインテリアコーディネートに応用出来るように学習します。また、インテリアコーディネーター資格試験西洋インテリア史に対応出来るように学習します。	
年度	2025年度	学習内容：上記に対応しながらも、住宅を中心とした西洋建築史全般を学びます。特にここでは、産業革命以降を「近代」と定義し、近代、現在、ポストモダンに連なる住宅と家具の歴史を学びます。	
学年	1年次		
期	2		
教科名	建築史	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築史Ⅰ	01) 産業革命が建築の歴史に与えた影響（建築素材の変化・装飾の排除）とその理由がわかる。	
単位	1	02) 産業革命に反対し装飾の復活を試みたアール&クラフト運動の背景と経過、そして失敗の理由がわかる。	
履修時間	15	03) アール&クラフト運動を継承したヨーロッパの建築様式（アール&ゴシック、モダニズム等）の特徴、建築、建築家がわかる。	
回数	8	04) 同時代のヨーロッパとは対照的な米国の建築動向（カレッジ派）の特徴、建築、建築家がわかる。	
必修・選択	必修	05) 装飾の排除と復活という矛盾の解決策として誕生した「工芸工業と芸術の統合デザイン」の背景と意味がわかる。	
省庁分類	20. ②建築計画	06) デザインという思想を確立し世界にこれを普及したバウハウスの誕生と背景、影響を与えた建築や建築家がわかる。	
授業形態	講義	07) コルビュの「近代建築5原則」や彼の代表作（サグラダ・ファミリア、ロサンジェルス教会堂）の特徴がわかる。	
作成者	大室浩明	08) FLライトの「有機的建築」の考え方と彼の代表作（ユツパハウス、落水荘、グッゲンハム美術館）の特徴がわかる。	
教科書	コンパクト版建築史	09) ミースの「Less is more」の考え方と彼の代表作（ファン・ワース邸、バル・レザン）の特徴がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 機能主義建築の問題点とその解決策としてのモダニズムの現状や代表的建築家がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	-		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052103	科目コード	1021601
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：サニタリー空間とは、トイレ・洗面室・浴室などの水廻り空間の総称です。生活に欠くことのできない空間に、近年ではさらに付加価値が求められていることも、インテリア計画の中に反映できるように学習していきます。	
年度	2025年度	学習内容：サニタリー空間（トイレ・洗面室・浴室等）のインテリア要素を丁寧に学習する他に、ショールームやホテルの客室の実例の見学をとおして確認していきます。	
学年	1年次		
期	2		
教科名	建築計画	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築計画2	01) サニタリー空間の計画要点と基本構成がわかる。	
単位	1	02) トイレの空間に使用する床・壁の仕上げ、洋式大便器の種類、便座の種類、小便器の種類がわかる。	
履修時間	15	03) トイレの空間に使用する換気機器の種類、手洗いの種類、その他の設備がわかる。	
回数	8	04) 洗面・脱衣室に使用する床・壁の仕上げ、洗面器の種類、落とし込み洗面器、洗面化粧台がわかる。	
必修・選択	必修	05) 洗面・脱衣室に使用する洗濯機用防水パン、暖房機器、換気機器、その他の設備がわかる。	
省庁分類	20. ②建築計画	06) 浴室に使用する浴槽の種類と大きさ、浴槽の設置方式、浴槽の材質と性能、浴室ユニットの長所・短所がわかる。	
授業形態	講義	07) 浴室に使用する水栓金具、その他の設備機器、その他の設備がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) サニタリー空間全般で使用される水栓金具の種類、基本構成、トラップなどの設備がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 机上で学習した内容を、メーカーショールームに於いて実物をおとしてインテリア要素を確認できる。	
確認者	高山寿一郎	10) ホテルの客室を訪問し、実例をおとしてインテリア要素のコーディネート仕方がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	④⑦		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052104	科目コード	1021701
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：個室空間とは、他人から妨げられないプライベートの保てる空間を意味しており、基本的に快適な睡眠と快適な個人的行為をする場として適切であることが求められます。インテリア計画に応用できるように学習します。	
年度	2025年度	学習内容：個室に求められる理想的な環境条件を整理するとともに、睡眠や個人的行為を充足させるためのインテリア要素の基本的あり方を学んでいます。又、工場見学等で、実物をおし個室空間の理想的なあり方を学習します。	
学年	1年次		
期	2		
教科名	建築計画	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築計画3	01) 個室の定義、個室の歴史的な流れ、日本に於ける個室の誕生、生活様式等、個室のなりたちがわかる。	
単位	1	02) 日本の寝具の歴史、構成、シーピングリッチ（敷き布団、掛け布団）等をおして寝室・寝具のなりたちがわかる。	
履修時間	15	03) ベッドの基本構造、ボトム材の弾性と非弾性、ヘッドボードとフットボード、サイズ、種類等、ベッドの構造と種類がわかる。	
回数	8	04) スプリングマットレスの構造、マットレスの種類、体圧分散性、保温性、放湿性等、マットレスの構造と種類がわかる。	
必修・選択	必修	05) ベッドシツ、ベッドパッド、ベッドカバー（スプレッド）、コフォーター等、ベッドリッチの種類がわかる。	
省庁分類	20. ②建築計画	06) 脳を休めるための睡眠、身体を休めるための睡眠、急速眼球運動、睡眠のサイクル等、睡眠のメカニズムがわかる。	
授業形態	講義	07) 寝室に於ける遮光、換気、通気、温度、湿度、寝床内気候、遮音、吸音、照明、色彩計画がわかる。	
作成者	丸山千春	08) 主寝室、子供室、老人室、主寝室の生活機能と空間構成、コア・スペースメント等、個室の種類と生活行為がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 子供室、老人室の生活機能と空間構成、コア・スペースメント等、子供の個室・老人の個室がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) ホテル客室の種類、リビングルーム、スイートルーム等、ホテルの客室の種類と構成がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	④⑦		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No		3052105	科目コード	1032401
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：色が見えるしくみや、色の分類、伝達法、混色、見え方、心理効果、配色方法などを理解して身に付けることによりインテリアの提案やファッション、商品パッケージ など、様々なデザイン領域のカラーコーディネートに応用・活用することができます。		
年度	2025年度	学習内容：色を実際のデザインに活かしていくには、理論を学ぶことが必要です。インテリアデザイナー資格試験の試験範囲ともなるので、インテリアの勉強を始める初学者として、色の知識を基礎から身に付けていきます。		
学年	1年次			
期	2			
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	資格対策講座10	01) 色はなぜ見えるのか？ 色を見るための3つの要素「光源・物体・視覚（眼）」の関係を理解することができる。		
単位	1	02) 光とは何だろう。 電磁波、可視光、太陽光とスペクトル、分光分布などがわかる。		
履修時間	15	03) 光の性質について、物体の色の見え方には様々なものがあり、その各現象と名称がわかる。		
回数	8	04) 色を見る眼のしくみと、眼の各部分の名称と役割がわかる。		
必修・選択	必修	05) 網膜における光の処理のされ方と、視細胞の種類と役割、眼がどのように色を認識するのがわかる。		
省庁分類	-	06) 照明の違いによる、色の見え方の違いと、それに対応した分光分布の違いがわかる。		
授業形態	講義	07) 混色とは何か？ 各三原色と、加法混色と減法混色の違いがわかる。		
作成者	高山寿一郎	08) 色の心理効果と色の視覚効果がわかる。慣用色名がわかる。		
教科書	色彩能力検定対策テキスト3級編	09) 色の三属性と関係する配色イメージ、色のトーンと関係する配色イメージがわかる。		
確認者	高山寿一郎	10) ファッションにおけるカラーコーディネート、インテリアにおけるカラーコーディネートがわかる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	④⑤⑥⑦			
備考	パーソナルカラー研究所等の色彩に関する業務を行う団体に所属し、色彩全般の知識を活かし科目を担当。			

No		3052106	科目コード	2020101
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：新築または、リフォームを行う際に、ショールーム等で提示されるコーディネートを見ることによってインテリアの計画をより現実的にイメージすることができます。自分でコーディネートが作成できるよう学習していきます。		
年度	2025年度	学習内容：住宅でのプランニング（便所、洗面室、浴室、ベッドルーム）を0.5坪（約1.65㎡）の小さいサイズから大きな面積のタイプへと、実際の考えられるプランを教材にAuto-CADを使用しコーディネートを作成していきます。		
学年	1年次			
期	2			
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築設計製図1	01) 2DCADのアプリを使用し、プレゼンテーションボードに画像が挿入できる。		
単位	1	02) 平面・展開図の概念、図面尺度、製図方法を理解し、1440.5坪タイプのプレゼンテーションボード作成ができる。		
履修時間	30	03) 1440.5坪タイプのプレゼンテーションボード作成をとおして、便器、洗面器、空間に必要な7ヶ所がわかる。		
回数	15	04) 平面・展開図の概念、図面尺度、製図方法を理解し、1440.75坪タイプのプレゼンテーションボード作成ができる。		
必修・選択	必修	05) 1440.75坪タイプのプレゼンテーションボード作成をとおして、便器、洗面器、空間に必要な7ヶ所がわかる。		
省庁分類	32.⑩その他	06) 平面・展開図の概念、図面尺度、製図方法を理解し、浴室1坪タイプのプレゼンテーションボード作成ができる。		
授業形態	実習	07) 浴室1坪タイプのプレゼンテーションボード作成をとおして、浴槽の種類、設置方法、空間に必要な7ヶ所がわかる。		
作成者	高山寿一郎	08) 平面・展開図の概念、図面尺度、製図方法を理解し、土間のある家（寝室）のプレゼンテーションボード作成ができる。		
教科書	サブテキスト	09) 土間のある家（寝室）のプレゼンテーションボード作成をとおして、ベッドの基本構成、サイズ等がわかる。		
確認者	高山寿一郎	10) 就職活動時に使用できるように、授業で作成した課題を自分のPCから印刷できる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・提出課題）において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	①⑦			
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。			

No		3052107	科目コード		2020601
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由			
科	305. インテリア科	必要性：住宅の設計を行う際に、日本古来からの住宅工法（木造軸組み構法）を学ぶことにより、基本的な柱、壁、建具などの知識から重要な木造住宅の構法のルールを身に付けることができます。			
年度	2025年度	学習内容：Auto-CADを使用し、木造1戸建て住宅の平面図の作成を行います。作成していく中で、木造軸組み構法の知識を身に付けると共に、製図法を学習していきます。			
学年	1年次				
期	2				
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目			
科目名	建築設計製図6	01) 図面といわれる種類の中での平面図の役割を知り、何を描き込まなければいけないのがわかる。			
単位	1	02) 日本の伝統的なモジュールである尺貫法を知り、柱・壁の配置ルールがわかる。			
履修時間	30	03) 開口部と建具の役割を知り、図面での表記の仕方、身の回りに使用されている建具の名称等がわかる。			
回数	15	04) 階段の構成要素の踏み面・蹴上げ・蹴込みの名称と寸法がわかる。			
必修・選択	必修	05) 図面で表現する際に、段差を表す線分、材質などを表す目地の線分の使い分けができる。			
省庁分類	31. ①建築設計製図	06) 配置図の作成時に、住宅内と道路とをつなぐアプローチを考え、人の動線を計画することができる。			
授業形態	実習	07) 二階部分の外構である屋根伏図やバルコニーの名称や部分を知り、作図することができる。			
作成者	高山寿一郎	08) 図面に書き込む室名を適切な位置にバランスよく配置し、スタイルを切り替えながら記入できる。			
教科書	サブテキスト	09) 図面に書き込む寸法を適切な位置にバランスよく配置し、スタイルを切り替えながら記入できる。			
確認者	高山寿一郎	10) 自分の作成図面と見本を見比べて、修正箇所を見つけることができる。			
最終確認者	井坂昭司	評価方法			
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。			
該当DP	①				
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。				

No		3052108	科目コード	2020901
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：設計・デザインした物を3Dで表現が出来ることで、施主や発注元に対するプレゼンテーション資料としての視覚的な効果やイメージの伝わりやすさが抜群で、求められる場面が多くあります。		
年度	2025年度	学習内容：3面図を用いた立体物の作成方法と読み取り及び作成、材質設定、光源設定の基礎を学びShade3Dでのモデリングの基本と操作方法を学びます。		
学年	1年次			
期	2			
教科名	建築立体実習	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築立体実習1	01) Shade3Dのインターフェースを理解し3面図の読み取り方がわかる。		
単位	1	02) 直方体や錐形状などの立体オブジェクトの作成ができる。		
履修時間	30	03) 面を閉じた線形状と開いた線形状の違いがわかる。		
回数	15	04) Shade3Dの太陽である無限遠光源の設定方法がわかる。		
必修・選択	必修	05) 作成したオブジェクトの編集方法がわかり、実際に椅子をモデリングができる。		
省庁分類	-	06) 作成したオブジェクトに色や質感を設定できる。		
授業形態	実習	07) ビュー設定であるカメラの操作・設定方法がわかる。		
作成者	村田涼	08) 人工光源を作成してライティング作業ができる。		
教科書	Shade Certified Textbook	09) 回転体の作成を学び、リングなどの円形の物体を作成できる。		
確認者	高山寿一郎	10) 2DCADソフトとの互換について学び、活用できる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。		
該当DP	①			
備考	商業施設のデザイン事務所での設計・デジタルシミュレーション業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。			

No	3032109	科目コード	2040101
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：将来、実務において仕事を進めていくためには、専門性だけでなく、問題発見能力・問題解決能力・コミュニケーション能力などの「社会性（社会で活躍する力）」を身につけていることが重要です。	
年度	2025年度	学習内容：2期においては、専門性をとおしてどのような問題解決に取り組むか、仲間と話し合いながら自分たちが取り組む課題の発見・設定に取り組めます。	
学年	1年次		
期	2		
教科名	リアルジョブプロジェクト	科目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	リアルジョブプロジェクトI	01) 問題発見に向け、関連する情報を収集することができる。	
単位	1	02) 問題発見に向け、収集した情報を整理・分析・考察することができる。	
履修時間	30	03) 問題発見に向け、技術者としての問題意識をもって、現状の問題点を指摘することができる。	
回数	15	04) 問題発見に向け、グループディスカッション等において他者の話を聞くことができる。	
必修・選択	必修	05) 問題発見に向け、グループディスカッション等において自分の意見を伝えることができる。	
省庁分類	-	06) 問題発見に向け、グループで話し合った内容を、適切にまとめ、報告することができる。	
授業形態	実習	07) 問題設定に向け、これまでに修得した専門知識・技術を活用することができる。	
作成者	白井雅哲	08) 問題設定に向け、筋道をたてて（論理的に）考えることができる。	
教科書	-	09) 問題設定に向け、現状の問題点から解決すべき課題を提案することができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 問題発見をとおして設定した課題の社会的な意義等を適切に説明することができる。	
最終確認者	井坂 昭司	評価方法	
実務教員	○	①授業評価は「学習評価ルーブリック表」を用いて授業ごとに実施する。	
該当DP	-	②履修判定評価は「履修判定評価ルーブリック表」を用いて期末に実施する。	
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務を経験。企画業務でのプロジェクトマネジメント経験を活かし科目を担当。	③個々の学生の成長を「学生成長評価ルーブリック表およびリーダーチャート」を用いて記録する。	

No	3053101	科目コード	1020401
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：より快適なインテリア空間を計画するに為には、建築を取り巻く屋内外の環境（自然現象など）を知り、その効果を上手く室内に取り入れることが不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：環境工学を学ぶ意義について、居住性を左右する熱環境、空気環境、音環境、光環境について学習します。	
学年	1年次		
期	3		
教科名	環境工学	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	環境工学	01) 環境工学と建築設備の関わりと省エネルギーの考え方がわかる。	
単位	1	02) 壁体を伝わる熱移動現象（熱伝達・熱伝導・熱貫流）がわかる。	
履修時間	15	03) ガラス窓からの熱の伝わり方（伝熱・日射・）がわかる。	
回数	8	04) 湿度と結露の関係、結露の防止策がわかる。	
必修・選択	必修	05) 室内の温熱環境の要因、温熱指標の種類、室内温湿度条件に関する事項がわかる。	
省庁分類	21.③建築環境工学	06) 室内空気汚染物質、換気量と換気方式がわかる。	
授業形態	講義	07) 音の性質と属性、音の表し方（レベル：dB）、騒音に関する事項がわかる。	
作成者	今野祐二	08) 遮音と吸音について、建築材料の特性がわかる。	
教科書	インテリアコーディネーター合格教本	09) 光の性質と目の構造と特性、光測量（単位）に関する事項がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 日照・日影・採光に関する事項がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑧		
備考	建築設備の設計施工に携わり、機械設備・施工の知識を活かし科目を担当。		

No	3053102	科目コード	1020601
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアデザインやインテリアコーディネートの造形的背景を把握し、設計実習やインテリアデザインに応用することができます。また、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指すために必要となる、歴史の知識を身に付けるため学習します。	
年度	2025年度	学習内容：上記に対応しながらも、住宅を中心とした西洋建築史全般を学びます。特にここでは、ギリシャ以前、ギリシャ・ローマ、ゴシック、ルネサンス、新古典主義までの近代以前の建築について学びます。	
学年	1年次		
期	3		
教科名	建築史	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築史2	01) 文明が定住によっては始まり、定住によって住宅が生まれたという建築史の起源と背景がわかる。	
単位	1	02) ヨーロッパの初期文明（メソポタミア、エジプト）建築がギリシャ建築に与えた影響がわかる。	
履修時間	15	03) オーダーやアゴラ等、ギリシャ建築の特徴と、ギリシャ建築を代表するパルテノン神殿の機能と特徴がわかる。	
回数	8	04) アーチ、ドーム、コンクリートの発明によって巨大化したローマ建築の概要と代表的建築物の特徴がわかる。	
必修・選択	必修	05) ローマ帝国の衰退と分割によって誕生した中世建築（西欧）とビザンチン建築（東欧）の違いと特徴がわかる。	
省庁分類	20.②建築計画	06) ローマ帝国の衰退によってしだいに強化したキリスト教建築、特にゴシック建築の構造的特徴がわかる。	
授業形態	講義	07) 強化したキリスト教への疑問と反発から生まれたルネサンス建築の概要、特徴、代表的建築がわかる。	
作成者	大室浩明	08) ルネサンス建築の変遷としての、マニエリスム、バロック、ロココ建築の概要、特徴、代表的建築がわかる。	
教科書	コンパ外版建築史	09) ギリシャ・ローマ建築のバリエーションとしての新古典主義建築の背景、特徴、代表的建築がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 世紀末建築（新古典主義建築）と現代建築（ポストモダニズム建築）の類似性がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	-		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3053103	科目コード	1021801
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：住宅の中でキッチンが最も「作業」をする場所であり、主婦の関心度が一番高い空間です。ライフスタイルの変化に伴い、家族が唯一集まる機会がある場所として、住空間の計画に不可欠な要素です。	
年度	2025年度	学習内容：機能性・デザインの両面から適切なプランニングが提案できるよう、講義と見学、そして簡単な実習で、キッチン計画の基本を学びます。	
学年	1年次		
期	3		
教科名	建築計画	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築計画4	01) 現在最も普及しているシステムキッチンの基礎がわかる。	
単位	1	02) 日本人の食生活とキッチンの関係のデータから、現在のキッチンの動向がわかる。	
履修時間	15	03) キッチンで行う基本作業、作業性を考えたレイアウト、キッチンのサイズと作業動線がわかる。	
回数	8	04) システムキッチンの構成要素、基本の設備、キッチンの収納計画がわかる。	
必修・選択	必修	05) キッチンのレイアウトパターン…1列型、2列型、L型、U型、アイランド型、ペニンシュラ型がわかる。	
省庁分類	20.②建築計画	06) 生活の変化に伴うこれからのキッチンに関して、暮らしが変わるとキッチンも変わることがわかる。	
授業形態	講義	07) キッチンの関連法規がわかる。	
作成者	鈴木俊恵	08) 校外学習：国産キッチンメーカーで、実物をとおしてシステムキッチンの構成がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 校外学習：輸入キッチンメーカーで、実物をとおしてドイツのシステムキッチンの構成がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) クラウドを想定してキッチンのレイアウトプランの作成ができる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	④⑦		
備考	インテリアコーディネーターの業務でのインテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3053104	科目コード	1021901
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：住宅内で人の集まる空間であるリビングとダイニング、表舞台の生活を裏方で支える収納計画は、インテリアの計画を行う上で不可欠な要素となります。	
年度	2025年度	学習内容：リビングとダイニングの空間に着目し、現代の住空間の中で家族が集い憩うためにどのような空間構成が必要とされ、またどのようなインテリア要素を準備構成する必要があるのか、収納空間を含め学習を行います。	
学年	1年次		
期	3		
教科名	建築計画	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築計画5	01) LDKの歴史的系譜と役割、現代におけるLDK空間の問題点とLDK空間の組合せがわかる。	
単位	1	02) L空間の基本構成（役割、型、座の必要寸法、座の配置パターン、座の周囲との関係、座の高さ関係）がわかる。	
履修時間	15	03) L空間の特性と使用されるインテリア要素（ソファ、センターテーブル、センターラグ等）がわかる。	
回数	8	04) D空間の基本構成（役割、型、座の必要寸法、平面・断面計画、座の周囲との関係、座の高さ関係）がわかる。	
必修・選択	必修	05) D空間の特性と使用されるインテリア要素（ダイニングテーブル、ダイニングチェア、照明器具等）がわかる。	
省庁分類	20.②建築計画	06) L・D空間の内装仕上げ材に関する基本事項（内装制限等）がわかる。	
授業形態	講義	07) L・D空間の室内環境（空間の採光、換気、照明）がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) 収納の意義、収納環境の留意点等、収納に関する基本事項がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 各室の収納計画に関しての基本事項がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 様々な収納部（押入れ、クローゼット、ウォークインクローゼット、納戸）の違いがわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	④⑦		
備考	設計事務所に建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No		3053105	科目コード	1031501
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：建築物の役割は、人間の安全を確保・財産を守ることが挙げられ、構造・材料が深く関わっています。また、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指すために必要となる、構造・材料の知識を身に付けるため学習します。		
年度	2025年度			
学年	1年次	学習内容：建築物の各構造（木造・RC造・S造）の特徴と、建築物を構成する材料（木材、コンクリート、鉄骨等）の特徴と使用箇所に関して学習します。		
期	3			
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	資格対策講座1	01) 木材の種類（針葉樹、広葉樹）や用語（心材、辺材等）、基本的性質（強度や比重等）がわかる。		
単位	1	02) 木材を使用した建築材料（合板、積層材等）の製法や特徴がわかる。		
履修時間	15	03) 木造建築の構法（木造軸組み構法、枠組み壁構法等）の特徴がわかる。		
回数	8	04) 鉄筋コンクリート構造（RC造）について、各構造（ラーメン構造、壁式構造等）の特徴がわかる。		
必修・選択	必修	05) コンクリートを生成している材料（水、セメント、細骨材、粗骨材）とコンクリートの基本的特徴がわかる。		
省庁分類	-	06) 鋼構造（S造）について、使用される鋼材の種類や接合方法等、鋼構造の基本的特徴がわかる。		
授業形態	講義	07) 各種構造で使用される床・壁・天井・屋根の地下材料と仕上げ材料と、それらの作り方がわかる。		
作成者	高山寿一郎	08) 和室の基本的な内装部材の構成と各部分名称、床の間の形式や種類がわかる。		
教科書	インテリアコーディネーター合格教本	09) 洋室開口部の造作や見切縁、階段の構成部材と種類がわかる。		
確認者	高山寿一郎	10) 構成材の意味、床、壁の収まり方の種類や特徴と、窯業系材料、機能材料の種類と特徴がわかる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	⑧⑨			
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネーター全般の知識を活かし科目を担当。			

No	3053106	科目コード	1031601
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：住宅設備に関する項目は、住生活を送る上で欠かすことのできない項目であり、インテリアの計画にも深く関わっています。また、インテリアコーディネーター試験に出題される問題を解けることを目標とします。	
年度	2025年度		
学年	1年次	学習内容：住宅の空調設備、給排水設備、サニタリーの器具、電気設備、省エネルギー機器などについて学習します。	
期	3		
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	資格対策講座2	01) 空調負荷（冷房負荷と暖房負荷）についてわかる。	
単位	1	02) 住宅の冷暖房設備機器（エアコンや暖房機器）の仕組みがわかる。	
履修時間	15	03) 給水設備の給水方式の種類とその特徴がわかる。	
回数	8	04) 給水に関する一般事項（水圧、クッション、吐水口空間、サイホン作用、バキュームレカなど）がわかる。	
必修・選択	必修	05) 給湯設備の給湯方式とその特徴がわかる。	
省庁分類	-	06) 排水の種類と排水方式についてわかる。	
授業形態	講義	07) トラップの機能と種類や封水破壊の原因、通気管の役割についてわかる。	
作成者	今野祐二	08) 浴槽の種類や材質、トイレ（大便器）の洗浄方式の特徴がわかる。	
教科書	インテリアコーディネーター合格教本	09) 電気の供給（配電）方式、分電盤の役割、コンセント数の決め方についてわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 高効率給湯機器、太陽光発電、太陽熱利用、全熱交換器の種類との仕組みがわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑧⑨		
備考	建築設備の設計施工に携わり、機械設備・施工の知識を活かし科目を担当。		

No		3053107	科目コード	2020201
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：実際のショールームでの仕事では、提案だけでなく図面を作成したり、コーディネートにまとめたりする作業を行います。また、お客様に自分の考えやイメージを伝えるために住空間の基本計画が重要です。		
年度	2025年度			
学年	1年次	学習内容：キッチンメーカーのショールームに展示してあるイメージを参考にキッチンのコーディネートの作成、1～3期前半の基本的な学習を応用して、住空間の基本計画ができるようになることを目標に掲げて、住空間のニーズを行います。		
期	3			
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築設計製図2	01) 住宅の中のキッチン空間とはどのような位置づけなのかがわかる。		
単位	1	02) 空間の大きさ、コンセプトによって様々なキッチンのレイアウトが存在することがわかる。		
履修時間	30	03) パソコンのCADを用いてキッチンの平面図の作成ができる。		
回数	15	04) パソコンのCADを用いてキッチンの展開図の作成ができる。		
必修・選択	必修	05) パソコンのCADを用いてキッチンのコーディネートが作成できる。		
省庁分類	32. ⑩その他	06) 住宅の計画演習を通して、設計作業の流れ（条件の把握→グループビギン→機能図→ゾーニング→ニーズ）がわかる。		
授業形態	実習	07) 住宅の計画演習を通して、各室の空間のサイズ、各室の要素の種類とサイズがわかる。		
作成者	高山寿一郎	08) 企業のショールームで校外授業を行い、住空間の在り方やシステム収納の実物を通して空間の作り方がわかる。		
教科書	サブリキスト	09) 設計の作業の流れ、各室の空間のサイズ、各室の要素の種類とサイズを踏まえ、長方形の住戸計画ができる。		
確認者	高山寿一郎	10) 設計の作業の流れ、各室の空間のサイズ、各室の要素の種類とサイズを踏まえ、L字形の住戸の計画ができる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	①④⑦⑧			
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネーター全般の知識を活かし科目を担当。			

No		3053108	科目コード	2021001
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：設計・デザインした物を3Dで表現が出来ることで、施主や発注元に対するプレゼンテーション資料としての視覚的な効果やイメージの伝わりやすさが抜群で、求められる場面が多くあります。		
年度	2025年度			
学年	1年次	学習内容：前期で学んだことを応用・発展させ、個室をひとつ作成し内観パースを完成させます。CADでのパース作成から、Shadeでのレンダリング、そして画像編集とプレゼンテーションボードの作成までを学びます。		
期	3			
教科名	建築立体実習	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築立体実習2	01) 自由曲面を用いてハンガーやパイプ椅子のような筒状の形状作成ができる。		
単位	1	02) ポリゴンメッシュ編集機能を活用し、様々な形状作成ができる。		
履修時間	45	03) ラジオシティ機能を使い、3Dの光と影をよりリアルに表現できる。		
回数	23	04) 内観モデリング作成のためのCADの作成、編集（ポリライン化作業）ができる。		
必修・選択	必修	05) 内観パースで開口部の作成、窓の表現ができる。		
省庁分類	32. ⑩その他	06) Shadeエクスプローラーを活用し、カタログ作成ができ、オブジェクト配置ができる。		
授業形態	実習	07) 個室の内観を作成し、床壁天井の材質設定、家具の配置・作成などトータルコーディネイトができる。		
作成者	村田涼	08) ラジオシティとレンダリングの関係性、詳細な設定について学び、活用できる。		
教科書	Shade Certified Textbook	09) フォトショップの基本操作を学び、写真のレタッチ、合成、加工ができる。		
確認者	高山寿一郎	10) イラストレーターの基本操作を学び、プレゼンテーションボードの作成ができる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。		
該当DP	①			
備考	商業施設のデザイン事務所での設計・デジタルシミュレーション業務インテリア全般の知識を活かし科目を担当。			

No3033109		科目コード2040201
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由 必要性：将来、実務において仕事を進めていくためには、専門性だけでなく、問題発見能力・問題解決能力・コミュニケーション能力などの「社会性（社会で活躍する力）」を身につけていることが重要です。 学習内容：3期においては、前期に設定した課題をどのように解決していくのか、他の学科や企業との連携もふまえ、その解決策の「企画提案」に取り組んでいきます。 科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目
科	305. インテリア科	
年度	2025年度	
学年	1年次	
期	3	
教科名	リアルジョブプロジェクト	
科目名	リアルジョブプロジェクト2	
単位	1	
履修時間	30	
回数	15	
必修・選択	必修	
省庁分類	-	
授業形態	実習	
作成者	白井雅哲	
教科書	-	
確認者	高山寿一郎	
最終確認者	井坂 昭司	
実務教員	○	
該当DP	-	
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務を経験。企画業務でのプロジェクトマネジメント経験を活かし科目を担当。	

No	3053110	科目コード	2060101
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由 必要性：10月に行われるインテリアコーディネーター資格試験合格を目指すため、インテリアコーディネーターの幅広い学習分野の問題に多く触れ、得点力アップを図ります。 学習内容：インテリアコーディネーターの過去問題集、外部団体の模擬問題集を使用し、インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲全般を学習します。 科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科	305. インテリア科		
年度	2025年度		
学年	1年次		
期	3		
教科名	インテリアコーディネーター集中講座		
科目名	インテリアコーディネーター集中講座Ⅰ		
単位	1		
履修時間	30		
回数	15		
必修・選択	必修		
省庁分類	－		
授業形態	研修		
作成者	高山寿一郎		
教科書	インテリアコーディネーター1次試験過去問題徹底研究		
確認者	高山寿一郎		
最終確認者	井坂昭司		
実務教員	○		
該当DP	④⑤⑥⑦		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネーター全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3054101	科目コード	1020701
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアデザインやインテリアコーディネートの造形的背景を把握し、設計実習やインテリアデザインに応用することができます。また、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指すために必要となる、日本の歴史の知識を身に付けるため学習します。	
年度	2025年度		
学年	1年次	学習内容：インテリアデザイン資格試験に対応しながらも、住宅を中心とした日本建築史全般を学びます。特に壁穴式住居、寝殿造、書院造、茶室、数寄屋造、町屋等に日本固有の建築について、様式とその背景にある生活についても学びます。	
期	4		
教科名	建築史	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築史3	01) 壁穴式住居の構造と住居形式、縄文時代の生活様式（定住＋稲作＋食糧保存＝村の誕生）がわかる。	
単位	1	02) 平安時代の庶民の住居形式（みせ＋土間＋通り庭＝町屋の原型）とそれらの今日の住宅への影響がわかる。	
履修時間	15	03) 平安時代の貴族の住居形式（寝殿＋対屋＋渡殿＝寝殿造）とその可変的インテリアの特徴がわかる。	
回数	8	04) 武家社会の武家屋敷の形式、特に書院造が生まれた背景と建築の形式がわかる。	
必修・選択	必修	05) 武家社会の庶民の住まい、特に関東の表店裏長屋の特徴、関西の町屋の特徴と今日の住宅への影響がわかる。	
省庁分類	20.②建築計画	06) 茶室の構造的特徴、デザインの特徴、空間的特徴と、それらを住居化した数寄屋造の特徴がわかる。	
授業形態	講義	07) 神社建築の歴史的、形式的、文化的背景と、それらを代表する出雲大社と伊勢神宮の特徴がわかる。	
作成者	大室浩明	08) 「法隆寺」「平等院鳳凰堂」「阿弥陀堂」の事例解説から仏教建築の歴史と建築的構造がわかる。	
教科書	コンパ外版建築史	09) 「春日山城(山城)」「安土城(平山城)」「大坂城(平城)」の事例解説から城郭建築の歴史と特徴がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 明治以降の西洋住宅の導入、中廊下式住宅の普及、モダニズムの始まり等、近代住宅の変遷がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	-		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3054102	科目コード	1020801
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：「建築設備」には、給排水・衛生設備、冷暖房設備、換気設備、電気設備などがあります。居住する人にとって快適で利便性の高い生活環境を求めるために必要不可欠なものです。	
年度	2025年度		
学年	1年次	学習内容：住宅設備を中心に、水回りの給排水・衛生設備、夏季や冬季を快適に過ごすための冷暖房設備、室内の汚染空気を入れ替えるための換気設備について学習します。	
期	4		
教科名	建築設備	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築設備 1	01) 建築と建築設備との関わりや建築設備とは何かがわかる。	
単位	1	02) 給水設備における、汚染防止、給水方式、給水量、水圧の確保などがわかる。	
履修時間	15	03) 給湯設備における、給湯温度、給湯量、給湯機器の種類と特徴などがわかる。	
回数	8	04) 排水設備における、排水の種類、排水方式、排水勾配、トラップの役割、阻集器、通気管の役割などがわかる。	
必修・選択	必修	05) 衛生器具の種類や用途についてわかる。	
省庁分類	22.④建築設備	06) 換気設備の必要性、機械換気設備の種類、必要換気量、換気機器の種類と特徴がわかる。	
授業形態	講義	07) 冷暖房の熱負荷とはなにか、熱負荷の種類がわかる。	
作成者	今野祐二	08) 住宅用のエアコンや暖房機器の種類とそれぞれの特徴がわかる。	
教科書	インテリアデザインハンドブック統合版	09) 設備機材（配管・ポンプ、ダクト・送風機など）についての概要がわかる。	
確認者	高山 寿一郎	10) 太陽熱・太陽光、地熱などの自然エネルギーを利用例についてわかる。	
最終確認者	井坂 昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑧⑨		
備考	建築設備の設計施工に携わり、機械設備・施工の知識を活かし科目を担当。		

No	3054103	科目コード	1030101
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：家具はインテリアにおいて直接人間に触れる重要な要素です。家具について深く学ぶ事はより良い建築やインテリアを創造する為に役立つだけでなく、社会におけるデザイナーの役割を理解する事にもなる為必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：家具デザインをより深く理解する為に歴史的な成り立ち、製造方法と素材、機能性、芸術的な視点などを総合的に学びます。優れた作品例を多く見て、デザインの種となるアイデアを豊かにする事も目的の一つとします。	
学年	1年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	4	01) 家具の基本的な分類と概念、またそれらの名称がわかる。	
教科名	建築計画	02) 近代家具デザインの歴史的な背景がわかる。	
科目名	建築計画6	03) 近代デザイン以前のクラシックな家具がどのようなものであったかわかる。	
単位	1	04) 金属を主材料とした家具がどのように生まれたか、また金属の特性や製造方法がわかる。	
履修時間	15	05) プラスチック製家具がどのような経緯で開発されたか、また種類別の特性や製造方法がわかる。	
回数	8	06) 木材が家具材料として最も多く用いられている理由、その特性と加工技術の歴史的な背景がわかる。	
必修・選択	必修	07) 椅子・テーブル類の機能や用途での分類と、それらの条件に則した設計デザインの基本がわかる。	
省庁分類	-	08) 収納家具のインテリアにおける重要さと、機能・使い勝手から導かれる設計上の法則、デザイン上のポイントがわかる。	
授業形態	講義	09) 多くの実例を見ることで、クラシックから最新のデザインまで家具デザインの変遷とトレンドの変化がわかる。	
作成者	笠原嘉人	10) 設計者・デザイナー・コーディネーターとしてより良い家具を提案するための考え方がわかる。	
教科書	サブテキスト	評価方法	
確認者	高山寿一郎	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
最終確認者	井坂昭司		
実務教員	○		
該当DP	⑤⑦		
備考	家具のデザイン事務所での家具設計の業務に携わり、家具の歴史、家具製作、木質材料の知識を活かし科目を担当。		

No	3054104	科目コード	2020301
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアに於いて、お客様の要望や自分の考え（イメージ）を伝えるためにも住空間の基本計画が重要です。お客様の要望をまとめ手描きの図面としてまとめる能力は必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：3期の長方形、L字の空間、今期の3ベッドの住宅の演習を行い、それを踏まえ、「家族が楽しむための新しい提案」を入れた平屋建て4人家族の4LDKUS程度の住空間の計画を行います。	
学年	1年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	4	01) 住宅の計画演習を通して、設計作業の流れ（条件の把握→「リビング」→機能図→「ゾーニング」→エントランス）がわかる。	
教科名	建築設計製図	02) 住宅の計画演習を通して、各室の空間のサイズ、各室のエリアの種類とサイズがわかる。	
科目名	建築設計製図3	03) 設計の作業の流れ、各室の空間のサイズ、各室のエリアの種類とサイズを踏まえ、3ベッドの住戸計画ができる。	
単位	1	04) 住宅展示場で校外授業を行い、各室の構成やインテリアの実物を通して空間の作り方がわかる。	
履修時間	30	05) バックスペース（リビング・ダイニング・キッチン）の空間構成がわかる。	
回数	15	06) フロントスペース（主寝室・子ども室）の空間構成がわかる。	
必修・選択	必修	07) サイドスペース（浴室・洗面所・便所・家事室）の空間構成がわかる。	
省庁分類	31.①建築設計製図	08) その他のスペース（玄関・玄関ロビー・廊下・納戸）の空間構成がわかる。	
授業形態	実習	09) 最終計画案の平面図をCADで作成できる。	
作成者	高山寿一郎	10) 最終計画案の断面図をCADで作成できる。	
教科書	サブテキスト	評価方法	
確認者	高山寿一郎	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
最終確認者	井坂昭司		
実務教員	○		
該当DP	①③④⑦⑧⑨		
備考	設計事務所に建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3054105	科目コード	2020701
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアを志す者として、平面計画だけでなく断面や、高さの概念を身に付けることは必要不可欠で、木造住宅の平面図だけではなく、断面図・立面図の知識も身に付けることが必要です。	
年度	2025年度	学習内容：平面図を利用して、高さ寸法の関係を理解する断面図、敷地周辺を含めた立面図を作成し、木造住宅に関しての知識をさらに深める学習を行います。	
学年	1年次		
期	4		
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築設計製図7	01) 断面図・立面図の概要と図面の必要性がわかる。	
単位	1	02) 平面図を利用した断面図の作成方法がわかる。	
履修時間	30	03) 断面図の切断位置を理解し、基準線の必要性と高さ方向の基準線の名称がわかる。	
回数	15	04) 屋根の構成部材を理解した上で、勾配や厚さを表現できる。	
必修・選択	必修	05) 見え掛り建具と切断建具の画層の違いを知り、図面を作成する際に画層の使い分けできる。	
省庁分類	31. ①建築設計製図	06) 前面道路から道路斜線を導き出して、敷地内の適正な位置に住宅が位置していることがわかる。	
授業形態	実習	07) 平面図・断面図を利用した立面図の作成方法がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) 立面図での屋根・開口部の作成ができる。	
教科書	サブテキスト	09) 外壁面の仕上げ（基礎の立ち上がり・水切りを含む）やガラス・バルコニーの外部工作物が作成できる。	
確認者	高山寿一郎	10) 平面図・断面図・立面図の整合性の確認ができる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	①		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3054106	科目コード	2021101
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：設計・デザインした物を3DCGで立体表現出来ることで、施主との打ち合わせ時に完成後のイメージを視覚的に提示することができます。インテリア分野において空間を3DCGで表すことは不可欠です。	
年度	2025年度		
学年	1年次	学習内容：前期は全員同様の空間を作成したが、今期では設計の授業で学生それぞれが設計した住宅の内観イメージを作成を行います。CGを作成するための図面の作り方を学ぶと共に自分のデザイン・想像を形にする力を身につけます。	
期	4		
教科名	建築立体実習	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築立体実習3	01) 自分の設計した住宅を理解し、CGイメージを作成するための図面の作成ができる。	
単位	1	02) 通常の展開図ではなく、CGイメージを作成するための簡易的な展開図の作成ができる。	
履修時間	30	03) 作成したCAD図面を立体にするための準備であるモデリング化ができる。	
回数	15	04) 各自が設計した空間の床・壁・天井及び開口部の基本構造の作成ができる。	
必修・選択	必修	05) パネルマッピング・トリムマッピングを活用し、ガラスや絨毯などの材質表現の方法がわかる。	
省庁分類	32. ⑩その他	06) マスターフェイスを活用し、ガラスや壁紙などのオブジェクトを効率的に材質設定ができる。	
授業形態	実習	07) ライト光源としての面光源を使用し・明るさの調節ができる。	
作成者	村田涼	08) 立体画像であるHDR画像を理解し、Shadeでの使用方法・背景設定方法がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) Photoshopでのイメージをいかにするための応用を学び、イメージの編集・加工・合成ができる。	
確認者	高山寿一郎	10) Photoshopの選択範囲・レイヤー操作の応用を学び効率的に操作ができる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	①		
備考	商業施設のデザイン事務所での設計・デジタルシミュレーション業務インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3054107	科目コード	2021201
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアの提案をする時に使用するプレゼンテーションボードの作成や、ボード資料の作成ができるようになるために、グラフィック系のソフトウェアの習得は不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：Photoshop Elementsで主に画像の効果的な色調補正の方法や合成技術を、Illustratorでは文字の組み方やレイアウトを学び、プレゼンテーションボードが作成できるようになります。	
学年	1年次		
期	4		
教科名	建築表現技法	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築表現技法I	01) Photoshopの基本的な機能である描画ツールがわかる。	
単位	1	02) Photoshopを用いて写真の色調などを整えることができる。	
履修時間	30	03) 選択範囲を理解し、写真の合成ができる。	
回数	15	04) 画像解像度についてわかる。	
必修・選択	必修	05) ベジエ曲線を理解し、Illustratorで自由に形を作ることができる。	
省庁分類	-	06) Illustratorで図形を描画し、様々な方法で色をつけることができる。	
授業形態	実習	07) Illustratorの便利な機能を理解し、紙面の装飾ができる。	
作成者	富塚裕子	08) 文字の入力方法と文字の種類を理解し、文字組みができる。	
教科書	サブテキスト	09) 印刷用の台紙の作成方法がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) Photoshopで処理した画像をIllustratorに配置することができる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	②		
備考	Webサイト構築プロジェクトにおけるデザイン業務の知識を活かしデジタルデザインの科目を担当。		

No	3054108	科目コード	2021401
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：人間がひとつひとつの線を引くことで描く表現技法を学び、空間を適切に表現できることはインテリアデザイナーとしての礎であり、施主へのプレゼンテーション、デジタルツールの3D原理の理解にも必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：取り上げる表現技法は、基本図面から、アソシエイト、アイソメトリック、1点透視図、2点透視図（パース）を平行定規を使用して手描きで製図を行い、小さい住宅の建築模型まで作成します。	
学年	1年次		
期	4		
教科名	建築造形実習	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築造形実習I	01) 建築図面の種類と描くのに必要な道具の種類を理解し、基本的な建築の線種を描くことができる。	
単位	1	02) 建築に用いる寸法の単位と設計寸法の決め方、扱い方を理解し、設計図面と縮尺の関係性がわかる。	
履修時間	30	03) 軸測投影図の概要、特徴、使用用途を理解し、等角投影図（アソシエイト）を描くことができる。	
回数	15	04) 等角投影図と不等角投影図の特徴と相違を理解し、不等角投影図（アイソメトリック）を描くことができる。	
必修・選択	必修	05) 透視図の基本原則と用語、種類と特徴を理解し、透視図の視点と立点位置による構図の違いがわかる。	
省庁分類	32. ⑩その他	06) 正式な透視図法の原理と簡略図法の特徴と作図方法、1点透視図を簡略図法で描くことができる。	
授業形態	実習	07) 1点透視図を応用した俯瞰図法と特徴、作図方法、1点透視図を応用した俯瞰図を描くことができる。	
作成者	丸山千春	08) 2点透視図の簡略図法における特徴、作図方法を理解し、2点透視図を簡略図法で描くことができる。	
教科書	サブテキスト	09) 模型製作を行い、優れた建築の構成、空間、周辺環境等との調和方法を理解し、名建築とは何かがわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 建築設計に用いる模型の種類と役割、模型材料の道具と材料を理解し、建築模型の作成ができる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・提出課題）において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	③		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No3034109		科目コード2040301
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由 必要性：将来、実務において仕事を進めていくためには、専門性だけでなく、問題発見能力・問題解決能力・コミュニケーション能力などの「社会性（社会で活躍する力）」を身につけていることが重要です。 学習内容：4期においては、前期までに自分たちで考えた解決策にしたがい、仲間とともに解決策の実施に取り組んでいきます。
科	305. インテリア科	
年度	2025年度	
学年	1年次	
期	4	
教科名	リアルジョブプロジェクト	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目
科目名	リアルジョブプロジェクト3	01) 問題解決に向け、計画書(企画書)にそって計画を実行することができる。 02) 問題解決に向け、これまでに修得した専門知識・技術を活用することができる。 03) 問題解決に向け、仲間と協力して行動することができる。 04) 問題解決に向け、粘り強く取り組むことができる。 05) 問題解決に向け、工程および予算を管理することができる。 06) 問題解決に向け、計画の進捗状況を把握・記録・報告することができる。 07) 問題解決に向け、技術者として計画の進捗状況から新たな問題点を発見することができる。 08) 問題解決に向け、新たな問題点の解決策を筋道をたてて(論理的に)考えることができる。 09) 問題解決に向け、新たな問題点の修正案を立案することができる。 10) 問題解決に向け、修正案を実行することができる。
単位	1	
履修時間	30	
回数	15	
必修・選択	必修	
省庁分類	-	
授業形態	実習	
作成者	白井雅哲	
教科書	-	
確認者	高山寿一郎	
最終確認者	井坂 昭司	評価方法
実務教員	○	①授業評価は「学習評価ルーブリック表」を用いて授業ごとに実施する。 ②履修判定評価は「履修判定評価ルーブリック表」を用いて期末に実施する。 ③個々の学生の成長を「学生成長評価ルーブリック表およびリーダーチャート」を用いて記録する。
該当DP	-	
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務を経験。企画業務でのプロジェクトマネジメント経験を活かし科目を担当。	

No		3055101	科目コード	1020901
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：「建築設備」には、給排水・衛生設備、冷暖房設備、換気設備、電気設備などがあります。居住する人にとって快適で利便性の高い生活環境を求めるために必要不可欠なものです。		
年度	2025年度	学習内容：住宅設備の電気設備や水回りの住宅設備機器（キッチンやサニタリーの設備機器）について学習します。		
学年	1年次			
期	5			
教科名	建築設備	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築設備2	01) 電気の基礎用語とその単位がわかる。		
単位	1	02) 住宅への電力の引込み、配線方式がわかる。		
履修時間	15	03) 住宅における幹線設備のしくみと分電盤の役割がわかる。		
回数	8	04) 住宅における配線工事やスイッチ・コンセントの種類・取付け位置がわかる。		
必修・選択	必修	05) 住宅用火災報知器の種類、設置個所がわかる。		
省庁分類	22. ④建築設備	06) 住宅におけるテレビ放送設備やホームエレベーター設備についてわかる。		
授業形態	講義	07) キッチン設備と部材・機器レイアウトについてわかる。		
作成者	今野 祐二	08) サニタリー（浴室・洗面脱衣室・トイレ）の設備と機器についてわかる。		
教科書	インテリアコーディネートのブック統合版	09)		
確認者	高山 寿一郎	10)		
最終確認者	井坂 昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	⑧⑨			
備考	建築設備の設計施工に携わり、機械設備・施工の知識を活かし科目を担当。			

No		3055102	科目コード	1021001
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：どのようなデザインの建築物でも、各部位にはそれぞれ要求される基本的な性能があり、インテリアを志す者にとって、建築物のデザインに適した仕上材料や構法を考えることは必要不可欠です。		
年度	2025年度	学習内容：住宅設計を行っていくうえで押えておかなければいけない基本事項を、自分の設計に活かせるよう木構造について学びます。		
学年	1年次			
期	5			
教科名	建築構造	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築構造1	01) 木構造の建築物の組立て手順と住宅を支える重要な基礎に関してわかる。		
単位	1	02) 木造在来軸組構法の施工手順と使用される部材の名称と役割がわかる。		
履修時間	15	03) 木造在来軸組構法の接合部（継手・仕口・緊結金物）の種類と名称がわかる。		
回数	8	04) 木造枠組壁工法の施工手順と施工方法がわかる。		
必修・選択	必修	05) 床、壁、天井の各種下地の構成と材料がわかる。		
省庁分類	24. ⑥建築一般構造	06) 床の構法と仕上材の種類（板張り、コルク材、タイル、塩化ビニル系床材、石張り）がわかる。		
授業形態	講義	07) 壁の構法と仕上材の種類（左官、張り、ボード、壁紙、外壁サイディング）がわかる。		
作成者	高山寿一郎	08) 天井の構法と仕上材の種類（打上げ、竿縁、格、あじろ、よしず）がわかる。		
教科書	サブテキスト	09) 各種天井の形状（平、勾配、船底、掛け込み、折り上げ）がわかる。		
確認者	高山寿一郎	10) 屋根葺材（瓦、金属板、スレートなど）と仕上材料によって勾配が変わることがわかる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	⑧⑨			
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。			

No		3055103	科目コード	1021301
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：これからの就活や社会に出てからを見据えて、今、仕事の最前線で活躍している社会人に話を聞くことで、将来の自分の仕事について、考えることが大きな目的になります。		
年度	2025年度	学習内容：企画・デザイン、建築設計、コーディネート、そして営業、販売など、インテリアに関する仕事は非常に多岐にわたります。主な業務内容とそれぞれに必要な基本的なスキルについて学習します。		
学年	1年次			
期	5			
教科名	建築実務	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築実務1	01) インテリアデザインを学んだ者が仕事をする現場として、どこにどんな仕事があるかがわかる。		
単位	1	02) インテリア、建築、それぞれの業界の全体像がわかる。		
履修時間	15	03) リフォームの仕事について、プランニングから実施までの、具体的な業務や必要なスキル、最近の傾向などがわかる。		
回数	8	04) ハウスメーカーのインテリアコーディネートの仕事について、具体的な業務や必要なスキル、最近の傾向などがわかる。		
必修・選択	必修	05) インテリアショップの仕事で、接客・プランニング・納品、他部署と連携しながらの実務の流れや必要なスキルがわかる。		
省庁分類	-	06) わすなどの空間デザインの企業で、顧客と共同で問題発見・解決を提案・実施・納品している仕事がある。		
授業形態	講義	07) 住宅以外にもインテリアの仕事があることがわかる。		
作成者	鈴木俊恵	08) 商業施設の仕事の一例として、ホテルのインテリアデザインの仕事の流れや必要なスキルがわかる。		
教科書	サブテキスト	09) 商業施設の仕事の一例として、インテリア売場を作ることの仕事の流れや必要なスキルがわかる。		
確認者	高山寿一郎	10) 実務での基本知識として必要なトレンド情報や生活情報の重要性、活用方法などがわかる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	-			
備考	インテリアコーディネーターの業務でのインテリア全般の知識を活かし科目を担当。			

No		3055104	科目コード	1030201
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：人間の知覚において大半は視覚であり、照明は視覚を構成する重要な空間要素の1つです。建築・インテリアに必要な実践的な照明知識と照明計画を包括的に学習します。		
年度	2025年度	学習内容：照明の効果や基本的な単位を学習し、住宅の照明計画におけるテクニックを学習します。また、ケースディなど校外学習や講義を通じて体験し、照明計画を自分で行えるような技術を学びます。		
学年	1年次			
期	5			
教科名	建築計画	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築計画7	01) 光とは何かがわかる。		
単位	1	02) 照明が人に対してどのような視覚的な効果があるかがわかる。		
履修時間	15	03) 照明の単位や用語の基本がわかる。		
回数	8	04) 照明計画の手法がわかる。		
必修・選択	必修	05) 照明器具の種類がわかる。		
省庁分類	21. ③建築環境工学	06) ショールームなどで実際の照明器具に触れ、最新の照明デザインやトレンドがわかる。		
授業形態	講義	07) 住空間において必要な照明器具の設置位置、禁止事項などがわかる。		
作成者	篠塚泉	08) 住空間の用途や求められる明るさに合わせて照明器具の数量を選定できる。		
教科書	サブテキスト	09) 住空間の用途や必要な機能に合わせて照明器具の種類を選定できる。		
確認者	高山寿一郎	10) 照明の調光や3路スイッチ、センサーなど照明設備の運用方法についてわかる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	⑤⑦			
備考	照明デザイン事務所に照明の設計業務に携わり、照明全般の知識を活かし科目を担当。			

No		3055105	科目コード	2020401
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：インテリアに於いて、お客様の要望や自分の考え（イメージ）を伝えるためにも住空間の基本計画が重要です。お客様の要望（家具、仕上材、照明）をまとめてプレゼンテーションボードとしてまとめる能力は必要不可欠です。		
年度	2025年度	学習内容：4期に立案した住空間の計画案をより具体的にモデル化していきます。住宅全体・家具計画・色彩計画・素材計画・照明計画をプレゼンテーションボードにまとめる為に、インテリアレイトの選択をおこないます。		
学年	1年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
期	5			
教科名	建築設計製図			
科目名	建築設計製図4	01) インテリアベースの6要素（環境、住宅の構造、人の要素、経済性、感性、機能性）がわかる。		
単位	1	02) 色彩計画（カラー）が理解し、自分で計画した住空間のインテリアリストを決定できる。		
履修時間	30	03) パブリックベース（リビング・ダイニング・キッチン）の家具の選定ポイントを知り、各室の家具の選定ができる。		
回数	15	04) プライベートベース（主寝室・子ども室）の家具の選定ポイントを知り、各室の家具の選定ができる。		
必修・選択	必修	05) サニタリー（便所・洗面脱衣室・浴室・家事室）と玄関の家具の選定ポイントを知り、各室の家具の選定ができる。		
省庁分類	32. ⑩その他	06) 様々な素材のフィニッシュ（柔らかさ、硬さ、暖かさ、冷たさ、ざらざら、つるつる）がわかる。		
授業形態	実習	07) 床・壁・天井と家具調度品などの全体的な調和を理解し、適材適所の仕上材を選定することができる。		
作成者	高山寿一郎	08) 各室の光源の種類（白熱灯・蛍光灯・LED）と特徴がわかる。		
教科書	サブテキスト	09) 光の効果を考え、各室の照明器具の選択ができる。		
確認者	高山寿一郎	10) 住宅全体のトータルコーディネート・家具・素材・照明のプレゼンテーションボードができる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	②④⑤⑥⑦⑧⑨			
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。			

No	3055106	科目コード	2020801
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアを志す者として、平面・断面・立面計画だけでなく、建物の各所の詳細な高さや使用材料を表すために作られる工事用の矩計図を理解することは必要不可欠です。	
年度	2025年度		
学年	1年次	学習内容：4期までにおこなった平面図、断面図、立面図に続き、矩計図の製図をおこないます。基本的な矩計図の作図を通して、木造住宅で使用される各所の部材名称や、金物の重要性を理解します。	
期	5		
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築設計製図8	01) 矩計図の意味と必要性、矩計図での表現範囲、各部材寸法がわかる。	
単位	1	02) 木造住宅の基礎（フナヅク基礎）周辺の部材と作成順序がわかる。	
履修時間	30	03) 木造住宅の一・二階床周辺の部材と作成順序がわかる。	
回数	15	04) 木造住宅の屋根周辺の部材と作成順序がわかる。	
必修・選択	必修	05) 木造住宅の開口部周辺の部材と作成順序がわかる。	
省庁分類	31. ①建築設計製図	06) 木造住宅の天井周辺の部材と作成順序がわかる。	
授業形態	実習	07) 木造住宅の内・外壁部分の部材と作成順序がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) バルコニーなどの外部工作物と建物の接合部分を理解し、作成できる。	
教科書	サブテキスト	09) 矩計図の寸法記入ができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 必要な部材名と部材寸法を記入できる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	①		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、デジタルスキル・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3055107	科目コード	2021301
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：内装・家具・照明・ファブリックスなど、インテリアに関連する要素はたくさんあり、それらを全て自身で設計・計画し、プレゼンテーションボードを用いて提示出来るようになるということはデザイナーとして必要不可欠な能力です。	
年度	2025年度	学習内容：住宅全体のトータルデザインを行い、内観・俯瞰ベースを作成します。また、Illustrator・Photoshopの応用とプレゼンボードのデザインについても学び、家具・照明・ファブリックスとA2で計4枚のプレゼンテーションボードの作成を行います。	
学年	1年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	5		
教科名	建築表現技法		
科目名	建築表現技法2	01) 内観ベース以外の表現方法である俯瞰ベースや鳥瞰ベース・外観ベースについてそれぞれの特徴がわかる。	
単位	1	02) 新たに俯瞰ベースと内観ベースの作成方法の違いを知り、作成ができる。	
履修時間	45	03) 作成したマッピングを保存し、カラーを作成し使用することができる。	
回数	23	04) 作成した俯瞰ベースを編集し、それぞれの部屋の内観ベースに作り変えることができる。	
必修・選択	必修	05) 各自が設計した空間を自分の力のみで内観ベース作成ができる。	
省庁分類	-	06) 設計した住宅の内装・家具・照明計画など、自分なりのトータルデザインができる。	
授業形態	実習	07) イラストレーターでベジェ曲線や各ツールの使い方を学び自由な描画ができる。	
作成者	村田涼	08) フォトショップでの画像編集の応用、画像合成や切抜きなどの加工ができる。	
教科書	サブテキスト	09) イラストレーターとフォトショップを活用し、各計画のプレゼンテーションボードの作成ができる。	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	③		
備考	商業施設のデザイン事務所での設計・デジタルシミュレーション業務インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No		3055108	科目コード	2021501
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：椅子は「小さな建築」と言われ、1脚の椅子を自らの手で製作、実際の材料に触れ、加工・構造・接合・塗装や座張り等の一連の工程を経験する事で、空間構築・構成の基本、施工技術の基礎を身に付ける事が出来ます。		
年度	2025年度	学習内容：椅子の基本構成、図面の読み取り、木材の基礎知識と扱い方、計測具の正しい使用法、機械加工、接合方法、仕上げ方法、塗料・塗装の種類等、空間やものを現実にも創り上げる為の基礎的な知識の取得と、実作業を経験します。		
学年	1年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
期	5			
教科名	建築造形実習	01) 設計図面の読解力を向上する事ができる。		
科目名	建築造形実習2	02) さしがね等の専門的な計測具の使用方法がわかる。		
単位	2	03) 木材の基本的な取り扱い方法がわかる。		
履修時間	60	04) 木材の基本的な加工方法がわかる。		
回数	30	05) 木材同士の様々な接合方法がわかる。		
必修・選択	必修	06) 椅子の基本的な構造がわかる。		
省庁分類	-	07) 体験により木材の機械加工の実感がわかる。		
授業形態	実習	08) 体験により木材塗装の基本的技術がわかる。		
作成者	笠原嘉人	09) 木材の仕上げ、塗装の重要性がわかる。		
教科書	サブテキスト	10) 座面のペーパーコード編みの技術がわかる。		
確認者	高山寿一郎	評価方法		
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験（筆記・製作物（椅子）提出）において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
実務教員	○			
該当DP	④			
備考	家具のデザイン事務所での家具設計の業務に携わり、家具の歴史、家具製作、木質材料の知識を活かし科目を担当。			

No	3035109	科目コード	2040401
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：将来、実務において仕事を進めていくためには、専門性だけでなく、問題発見能力・問題解決能力・コミュニケーション能力などの「社会性（社会で活躍する力）」を身につけていることが重要です。	
年度	2025年度	学習内容：5期においては、問題解決に向け解決策の実施に取り組むとともに、年度末に開催される学習成果報告会に向け、報告書および発表資料の取り纏めを行います。	
学年	1年次		
期	5		
教科名	リアルジョブプロジェクト	科目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	リアルジョブプロジェクト4	01) 問題解決に向け、問題点を発見し必要に応じて計画を修正することができる。	
単位	1	02) 問題解決に向け、修正した計画を実行することができる。	
履修時間	30	03) 問題解決に向け、工程および予算を管理することができる。	
回数	15	04) 問題解決に向け、計画の進捗状況を把握・記録することができる。	
必修・選択	必修	05) 問題解決に向け、最後まで仲間と協力して行動することができる。	
省庁分類	-	06) 成果報告に向け、問題の発見から解決までに作成してきた資料を整理することができる。	
授業形態	実習	07) 成果報告に向け、資料に基づき、問題解決に取り組む意義、方法、成果等を報告書にまとめることができる。	
作成者	白井雅哲	08) 成果発表に際し、筋道立ったわかりやすいプレゼンテーション資料を作成することができる。	
教科書	-	09) 成果発表に際し、聴衆を引き付けるプレゼンテーションを行うことができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 成果発表を終え、問題点・不足点・今後の課題等を整理・報告することができる。	
最終確認者	井坂 昭司	評価方法	
実務教員	○	①授業評価は「学習評価ルーブリック表」を用いて授業ごとに実施する。	
該当DP	-	②履修判定評価は「履修判定評価ルーブリック表」を用いて期末に実施する。	
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務を経験。企画業務でのプロジェクトマネジメント経験を活かし科目を担当。	③個々の学生の成長を「学生成長評価ルーブリック表およびリーダーチャート」を用いて記録する。	

No	3051201	科目コード	1021102
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：建築物の設計には、設計者の意図があり、それに基づき各種デザインの建築物が造られています。建築・インテリアに携わる者として、鉄筋コンクリート構造、鋼構造の代表的な構造の基礎知識は必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：鉄筋コンクリート構造（RC造）、鋼構造（S造）の代表的な構造の基本的事項や、各部位にはそれぞれ要求される基本的な寸法や性能、仕上りの構法があることを学習し、設計に活かせるように知識を身に付けます。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	1	01) RC造の建築物の出来上がるまでのおおまかな順序、躯体（骨組）の施工手順がわかる。	
教科名	建築構造	02) RC造の建築物で使用される基礎の種類がわかる。	
科目名	建築構造2	03) RC造のラーメン構造と壁式構造の設計の基準を理解し、基本設計での躯体各部の大きさがわかる。	
単位	1	04) RC造の建築物の屋上防水の種類と施工方法がわかる。	
履修時間	15	05) 動画をとおしてRC造の建築物がどのような過程を経て造られていくのかわかる。	
回数	8	06) S造の建築物の出来上がるまでのおおまかな順序、躯体（骨組）の施工手順がわかる。	
必修・選択	必修	07) S造の建築物に使用される骨組み、耐火被覆の必要性がわかる。	
省庁分類	24. ⑥建築一般構造	08) S造の代表的な構造について理解し、鉄骨どうしの接合方法や溶接用語がわかる。	
授業形態	講義	09) 動画をとおしてS造の建築物がどのような過程を経て造られていくのかわかる。	
作成者	高山寿一郎	10)	
教科書	サブテキスト	評価方法	
確認者	高山寿一郎	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
最終確認者	井坂昭司		
実務教員	○		
該当DP	⑧⑨		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051202	科目コード	1021402
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアコーディネーターの仕事は、住まい手が必要とするものを適切に選び、住宅という生活空間をまとめていく事です。インテリアコーディネーターを目指す者として必要不可欠な能力です。	
年度	2025年度	学習内容：インテリアコーディネーターの職能やインテリアの仕事に関連する知識として、マーケティングの基礎知識についても、社会人として知っておくべき用語を中心に学びます。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	1		
教科名	建築実務	01) インテリアコーディネーターの職能、求められている役割がわかる。	
科目名	建築実務2	02) 暮らしに変化→インテリアも変化。暮らしを知ることで、顧客へ様々な提案が可能なことがわかる。	
単位	1	03) 実務に最も必要なインテリアの情報の一端を学ぶことにより、社会に出てからも学び続ける必要性がわかる。	
履修時間	15	04) 商品は日進月歩でどんどん変わる。現在の特徴的な商品の傾向がわかる。	
回数	8	05) 小売業の業態、販売におけるシステム、物流の基礎がわかる。	
必修・選択	必修	06) プラン提案→見積→契約→納品の一連の流れ、必要な知識がわかる。	
省庁分類	-	07) プラン提案で、具体的なプレゼンテーションの方法がわかる。	
授業形態	講義	08) 施主との契約・納品、商品仕入れの仕組みがわかる。	
作成者	鈴木俊恵	09) インテリアコーディネーターとして、どのポジションで仕事をするかがわかり、フィードバックについてもわかる。	
教科書	サブテキスト	10) 現在あらゆる企業で行われているマーケティング活動の基礎として、いくつかの用語がわかる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	-		
備考	インテリアコーディネーターの業務でのインテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051203	科目コード	1030402
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：建築・インテリアに携わる者として、外部建具と内部建具の基本的な知識は必要不可欠で、窓が切り取る風景や情緒的な感覚も必要不可欠となります。	
年度	2025年度	学習内容：インテリアコーディネーター試験対応の視点と実務的視点から、外部建具と内部建具の基本知識（材料や開閉の種類、ガラス材料の種類、金物等）を学び、建具のショールームでの授業もおこないます。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	1		
教科名	建築計画	01) 住宅の開閉部の機能、構造、種類、特徴についての概要がわかる。	
科目名	建築計画9	02) 住宅に主に使用される7mmサッシの種類（引き違い窓、上げ下げ窓、ガラスパル窓等）と特徴がわかる。	
単位	1	03) ガラスの製造法（フロート法等）とガラスの種類（網入ガラス、複層ガラス、強化ガラス等）や特徴や利用方法がわかる。	
履修時間	15	04) 様々なガラス商品（鏡、装飾ガラス、ステンドグラス、結晶化ガラス等）の特徴と利用方法がわかる。	
回数	8	05) フラットドアや框戸等の住宅の室内ドアの機能、構造、種類、特徴についての概要がわかる。	
必修・選択	必修	06) 取っ手や丁番等の建具金物や鍵の構造（ラックル等）、各種システム（マスターキー等）の概要がわかる。	
省庁分類	32. ⑩その他	07) 主にIC受験対策対応技術として、木製建具、障子、襖等の機能、構造、種類、特徴にいて解答できる。	
授業形態	講義	08) リアルショールーム見学とレジャー体験から、将来、顧客への主な住宅サッシの説明ができる。	
作成者	大室浩明	09) 以上の学習から住宅計画において、すべての開閉部に適切な7mmサッシと木製建具が選択できる。	
教科書	サブテキスト	10)	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	⑤⑦		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051204	科目コード	1030602
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアの設計・施工の現場で「木材」は最も多く利用される材料になります。建築・インテリアに携わる者として、木材の特徴や用途、加工や施工のルールに関する知識は必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：無垢木材（天然の木材）から、木材加工品（エンジニアードウッド）の合板などの工業的に加工されたものなど、大変数多くの種類や木質材料の用い方を学習します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	1		
教科名	建築材料	01) 天然の木材がどのように産出されるのかわかる。	
科目名	建築材料1	02) 天然の木材の様々な種類と種類別にどのように利用されるのかわかる。	
単位	1	03) 木材加工品（エンジニアードウッド）の様々な種類とその特徴による用途・性能がわかる。	
履修時間	15	04) 木材加工品（エンジニアードウッド）がどのように生産されているかわかる。	
回数	8	05) 木質材料が再生産可能な循環型の資源であることがわかる。	
必修・選択	必修	06) 床・壁・天井・建具など、インテリアの部位別に適した木質材料の使い方がわかる。	
省庁分類	25. ⑦建築材料	07) 木質材料の施工方法がわかる。	
授業形態	講義	08) 建材メーカーのショールームを訪問し、製品によるコーディネート空間を体感する事でその実際がわかる。	
作成者	笠原嘉人	09) 木材合板博物館で多くの種類の木材とその加工品に触れて、それらが実際にどのようなものかわかる。	
教科書	サブテキスト	10) 木材を使用した優れた建築・インテリアの事例を見て、上手に使いこなすための方法がわかる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	⑥⑦		
備考	家具のデザイン事務所での家具設計の業務に携わり、家具の歴史、家具製作、木質材料の知識を活かし科目を担当。		

No	3051205	科目コード	1032502
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：高齢者が増えた観点からも住宅整備の必要性が叫ばれています。2000年からスタートした介護保険制度を背景として福祉住環境コーディネーター検定試験3級の合格を目指します。	
年度	2025年度	学習内容：上記3級公式テキストに基づく受験対策講座です。介護保険制度の実施による、福祉と住環境の様々な連携事項について理解し学びます。	
学年	2年次		
期	1		
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	資格対策講座11	01) 少子高齢社会の現状と課題について、人口統計や社会構造からデータとしてわかる。	
単位	1	02) 介護保険制度の誕生した背景と概要がわかる。	
履修時間	15	03) 介護保険制度の誕生した背景と概要及び利用するための基本的内容がわかる。	
回数	8	04) 介護保険に関連するサービス（住宅リフォーム・福祉機器のレンタル・訪問介護）の概要がわかる。	
必修・選択	必修	05) 高齢者のための国の施策[高齢社会対策基本法][高齢社会対策大綱][少子高齢社会大綱]の内容がわかる。	
省庁分類	-	06) 少子社会のための国の施策である[エンゼルプラン][少子化対策プラン]の内容がわかる。	
授業形態	講義	07) 介護保険制度の背景にある日本の住環境の住宅計画学的な問題点が具体的にわかる。	
作成者	大室浩明	08) 07)の問題点についての具体的な解決方法がわかる。	
教科書	福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト	09) 福祉住環境コーディネーターの定義と社会的役割がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) バリアフリーとユニバーサルデザインの2つの思想の歴史的背景と意味の違いがわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑨		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051206	科目コード	2030102
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：住宅設計やインテリアデザインにおいて、これまで設計の授業で学習してきたことに加え、住空間の「立体構成」（平面構成や空間の高さ関係）を把握することは必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：平面構成に加え、床・天井・窓と光の関係、吹抜による上下階の連動、屋根形状と小屋裏空間の利用の仕方、階段による視点変化を学習し、二階建ての住宅の計画をおこないます。	
学年	2年次		
期	1		
教科名	建築設計製図		
科目名	建築設計製図9	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
単位	1	01) 二階建て住宅を設計する上での、フローの流れがわかる。	
履修時間	30	02) 二階建て住宅の参考事例における平面構成・立体構成の特徴がわかる。	
回数	15	03) 二階建て住宅の断面図の読み方がわかる。	
必修・選択	必修	04) 一般的な諸室の規模、およびインテリアメントの大きさがわかる。	
省庁分類	31. ①建築設計製図	05) 住宅における屋根、天井、開口部の形状とその断面的な特徴がわかる。	
授業形態	実習	06) 二階建て住宅の「ルーピング」、機能図作成、「ゾーニング」ができる。	
作成者	島田祐輔	07) 二階建て住宅（基本案）の計画・設計ができる。	
教科書	サブテキスト	08) 二階建て住宅（吹き抜け案）の計画・設計ができる。	
確認者	高山寿一郎	09) 二階建て住宅（スキップフロア案）の計画・設計ができる。	
最終確認者	井坂昭司	10) 二階建て住宅の断面図を適切に描くことができる。	
実務教員	○	評価方法	
該当DP	③⑦⑧	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。	
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3051207	科目コード	2030602
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：施工図面、詳細図面などは、建築物を建設する際に必ず必要とされます。建築業界で最も普及しているAutoCAD応用編として商業施設の施工図作図実習を行います。	
年度	2025年度	学習内容：商業施設の詳細図のトレース実習をとおして、商業施設の概要、動線計画、内装計画、施工計画等とを学びます。建築施工図全般の理解をし、平面図、天井伏図（S＝1／30）の作図技術を身につけます。	
学年	2年次		
期	1		
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築設計製図14	01) 商業施設のインテリア計画、動線計画、内装計画、施工計画の概要がわかる。	
単位	1	02) 施工図面の内容（平面図・天井伏図・電気設備図）の作図概要や目的がわかる。	
履修時間	30	03) 施工図面の内容（展開図・家具図・各種詳細図）の作図概要や目的がわかる。	
回数	15	04) 商業施設の平面詳細図（S＝1／30）のトレースがAutoCADを使用してできる。	
必修・選択	必修	05) 上記を詳細図を見て、各種床仕上げの仕様（素材の種類、差材のメーカー、塗装仕上等）がわかる。	
省庁分類	31. ①建築設計製図	06) 上記を詳細図を見て、各種床仕上げの下地材、施工方法がわかる。	
授業形態	実習	07) 商業施設の天井伏図（S＝1／30）のトレースがAutoCADを使用してできる。	
作成者	大室浩明	08) 上記を詳細図を見て、各種天井仕上げの仕様（素材の種類、差材のメーカー、塗装仕上等）がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 上記を詳細図を見て、照明設備機器（照明・エアコン・換気扇等）の記号や配置計画がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑩		
備考	商業施設のデザイン事務所での設計・デジタルシミュレーション業務インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052201	科目コード	1021202
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：建築・インテリアに携わる者として、お客様が満足する建物を提供するためには、密実な計画のもと作業を行わなければなりません。卒業後の二級建築士の取得を目指し学習します。	
年度	2025年度	学習内容：施工計画の大まかな把握とネットワーク工程表の読み取り、内装工事、木工事、鉄筋コンクリート工事、鉄骨工事、インテリアデザイナーと二級建築士の問題を中心に講義を行います。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	2		
教科名	建築施工		
科目名	建築施工I	01) 施工計画の概要、設計図書の種類、事前調査、工事管理の方法、工程表の種類がわかる。	
単位	1	02) 現場管理、安全管理、品質管理の重要性がわかる。	
履修時間	15	03) ネットワーク手法の用語と意味、計算方法がわかる。	
回数	8	04) 二級建築士問題のネットワーク工程表の計算問題を解くことができる。	
必修・選択	必修	05) 床・壁・天井の施工方法、石膏ボードの張付け方法・養生期間がわかる。	
省庁分類	34.⑧建築生産	06) 工事現場で使用される材料の品質管理の方法がわかる。	
授業形態	講義	07) 工事現場での木工事の方法・木工事で使用される金物がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) コンクリートの製造所から運搬、打込みまでの基本事項がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) コンクリートの材料（セメント、骨材）、性質、試験方法がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 鉄骨工事の中の高力ボルトの仕組み、溶接の種類がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑧⑨		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、施工計画全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052202	科目コード	1021502
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：高齢者が増えた観点からも住宅整備の必要性が叫ばれています。介護保険制度に対応する高齢者対応の水回り空間を理解し、それに関連する福祉機器について学びます。	
年度	2025年度	学習内容：TOTOの方タログブック2冊を教材とし、福祉住環境コーディネーター3級レベルの対応しながらも、より実務的レベルで高齢者のための水回り空間とその関連福祉機器について学びます。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	2		
教科名	建築計画	01) 要支援、要介護、障害者の3つのレベル別のトイレの設計計画ができる。	
科目名	建築計画I	02) 上記に関連する介護保険適用福祉機器（トイレリフト等）の機能や用途を理解し「かめろ」から選択できる。	
単位	1	03) 要支援、要介護、障害者の3つのレベル別の浴室の設計計画ができる。	
履修時間	15	04) 上記に関連する介護保険適用福祉機器（バスリフト等）の機能や用途を理解し「かめろ」から選択できる。	
回数	8	05) 要支援、要介護、障害者の3つのレベル別の洗面脱衣室の設計計画ができる。	
必修・選択	必修	06) 上記に関連する福祉用具（車椅子対応洗面台等）の機能や用途を理解し「かめろ」から選択できる。	
省庁分類	20.②建築計画	07) 高齢者に配慮したキッチンの設計計画ができ、それに適する「スリムキッチンをかめろ」から選択できる。	
授業形態	講義	08) 介護保険に適用される福祉用具と住宅改修の商品についての知識をもち、これを選択できる。	
作成者	大室浩明	09) 住宅性能表示制度の概要がわかる。	
教科書	「バリアフリーの住宅と福祉機器のかめろ」（TOTO）	10) 住宅性能表示制度について、特にトイレと浴室の等級5～等級1についての設計基準詳細がわかる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法 期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
最終確認者	井坂昭司		
実務教員	○		
該当DP	⑨		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052203	科目コード	1030502
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：住宅のインテリアでは、必ず必要なアイテム。最近ではヒダを取ったカーテンだけではなく、さまざまなスタイルや商品がある。「ファブリクス」と連動しながら、理解を深め、社会に出てすぐに役立つ知識を身に付ける為に学習します。	
年度	2025年度	学習内容：カーテン、ブラインドに代表される、ウィンド・トリートメントについて学びます。校外学習（2社見学）をはさみ、プランニング実習を行ってプレゼンテーションボードを作成します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	2		
教科名	建築計画		
科目名	建築計画10	01) ウィンド・トリートメントの歴史（発達してきた過程）がわかる。	
単位	1	02) ウィンド・トリートメントの役割・現在の暮らしで求められている機能がわかる。	
履修時間	15	03) 開閉方法（左右開閉、上下開閉）別に、光の取り入れ方、外部からの視線、使い勝手などがわかる。	
回数	8	04) カーテン（ヒダを取ったもの）の各部の名称や形状、特徴についてわかる。	
必修・選択	必修	05) カーテン以外（幼もの：シェード、ブラインド、ロールスクリーンなど）についてわかる。	
省庁分類	-	06) カーテンレール（機能性レール、装飾レール）、チャイルドセーフティ（子供の事故防止）についてわかる。	
授業形態	講義	07) カーテンの採寸・見積、品質表示についてわかる。	
作成者	鈴木俊恵	08) 校外学習：カーテン、幼ものの企業計2社のショールームで、これまた学んだことを現物で体感できる。	
教科書	サブテキスト	09) 校外学習：上記2社のショールームで、自分のプランのための商品セレクトを行い、サンプルを請求することができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 各自が作成した住宅プランを元に、「ファブリクス」実習と連動して、プレゼンテーションボードが作成できる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑤⑦		
備考	インテリアコーディネーターの業務でのインテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052204	科目コード	1030702
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：安全で快適な生活空間を提供する為には使用される材料の特性を正確に捉えることは非常に重要です。材料の製作・検査の作業の流れを体験的に学習し、技術者としての資質を養うことを目標とします。	
年度	2025年度	学習内容：本講座では、建築の代表的な構造である鉄筋コンクリート構造に用いられる主要材料であるコンクリート・鉄筋の種類と品質やその材料の力学特性、コンクリートと鉄筋の一体性などについて学びます。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	2		
教科名	建築材料	01) コンクリートの構成材料やその性質・作り方がわかる。	
科目名	建築材料2	02) コンクリートのスランプ試験方法がわかる。	
単位	1	03) コンクリートの空気量の測定方法がわかる。	
履修時間	15	04) 圧縮強度試験用供試体の製作方法がわかる。	
回数	8	05) 鉄筋の構造的な役割、性質やその働きがわかる。	
必修・選択	必修	06) 測定・試験を行い、鉄筋の力学特性・引張強度がわかる。	
省庁分類	25. ⑦建築材料	07) 測定・試験を行い、硬化コンクリートの力学特性・強度がわかる。	
授業形態	講義	08)	
作成者	李正浩	09)	
教科書	サブテキスト	10)	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	⑥⑦		
備考	大手ゼネコンでの構造設計実務及び付属の研究所にて鉄骨・コンクリートに関する研究実績を活かし科目を担当。		

No	3052205	科目コード	1030802
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアにおいて、繊維製品は重要なアイテムの1つです。校外授業では、代表的なインテリアリッスを扱う会社を2社見学し、社会に出てすぐに役立つ知識を習得します。	
年度	2025年度	学習内容：インテリアリッスの基礎として、ファブリック（布）の種類、素材の特徴を学び、どういった製品に使われているかを学びます。カーペット、壁装材としてのクロスについても基礎を学びます。	
学年	2年次		
期	2		
教科名	建築材料	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築材料3	01) 「布」について、織の種類（平織、綾織りなど）、繊維の種類（天然繊維、化学繊維）などがわかる。	
単位	1	02) 「布」について、染めの種類、仕上加工の種類、インテリアリッスの種類と使い方などがわかる。	
履修時間	15	03) カーペットについて、歴史、種類・用途・素材・織り方、使い方・敷き方などがわかる。	
回数	8	04) クッションについて、種類、特徴、用途がわかる。	
必修・選択	必修	05) 畳について、特徴、素材・構造、製造過程、現在のインテリアに合った使い方などがわかる。	
省庁分類	-	06) 壁紙（業界内ではクロスと呼ぶ）について、壁装材の歴史、種類・製法・特徴、施工、法規などがわかる。	
授業形態	講義	07) 壁紙が現在求められているデザイン性（アペール）、機能（使い勝手、健康や環境への考慮）などがわかる。	
作成者	鈴木俊恵	08) 校外学習：企業計2社（世界のハイグレードファブリック1社を含む）で、これまで学んだことを現物で体感できる。	
教科書	サブテキスト	09) 校外学習：上記1社（カーテ、壁紙）ショールームで、自分のプランのための商品レートを発行し、サンプルを請求できる。	
確認者	高山寿一郎	10) 各自が作成した住宅プランを元に、「ウィンド・リットラント」実習と連動して、プレゼンテーションボードが作成できる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑥⑦		
備考	インテリアコーディネーターの業務でのインテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052206	科目コード	1031702
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアコーディネーター試験に出題される環境分野に関する知識を学習し、問題を解くことが出来ることを目標とします。	
年度	2025年度	学習内容：温熱環境では屋外環境と室内環境・伝熱・室内の熱環境と冷暖房・体感温度・湿度と結露・結露防止対策・換気と通風、音環境では音の性質と尺度・音の測定と調整、光環境では光の性質と尺度・採光と日照を学習します。	
学年	2年次		
期	2		
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	資格対策講座3	01) 屋外環境と室内環境に関する事項がわかる。	
単位	1	02) 伝熱に関する事項がわかる。	
履修時間	15	03) 室内の熱環境と冷暖房に関する事項がわかる。	
回数	8	04) 体感温度に係る要因と温熱指標についてわかる。	
必修・選択	必修	05) 湿度と結露の関係、表面結露や内部結露の防止対策がわかる。	
省庁分類	-	06) 自然換気、機械換気の方法や通風についてわかる。	
授業形態	講義	07) 音の3要素、人間の聴感特性、音の表し方（単位）、音の性質がわかる。	
作成者	今野祐二	08) 音の大きさの測定方法、遮音・吸音に関する事項がわかる。	
教科書	インテリアコーディネーターハンドブック総合版	09) 光の性質と視覚の関係、光の尺度（測光量）についてわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 採光に関係する昼光率や窓の位置関係、日照や日影に関する事項がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑧⑨		
備考	建築設備の設計施工に携わり、機械設備・施工の知識を活かし科目を担当。		

No	3052207	科目コード	1031802
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアコーディネーター対策講座販売編の合格を目指し特にその関連住宅設備について学ぶ。併せて「省エネ基準適合住宅の義務化」に向けた省エネ設備機器と省エネ住宅計画について学びます。	
年度	2025年度	学習内容：キッチン、浴室、洗面を中心とした水回りの設備設計、設備機器、併せて、エコキュート、エコフォーム等の省エネ設備機器、またエアコン住宅等の最新の省エネ住宅計画技術について学びます。	
学年	2年次		
期	2		
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	資格対策講座4	01) システムキッチンの定義、各部の名称、レフト・ターン、カウンター等の各種仕様の特徴を理解しそれぞれ選択できる。	
単位	1	02) システムキッチンに関連する加熱機器、換気扇、食器洗い機等の特徴を理解し、それぞれ選択できる。	
履修時間	15	03) バリケードに配慮した浴室計画ができ、浴槽の形態と素材の特徴を理解し、それぞれ選択できる。	
回数	8	04) トイレの種類（サウナ式、サウナ式等）と特徴を理解し、その選択ができ、また節水式トイレについてもわかる。	
必修・選択	必修	05) 戸建住宅や集合住宅の給排水設備の概要と設計における注意事項のポイントについてわかる。	
省庁分類	-	06) エコフォーム、エコル等のジョイントシステムやエコキュート等のヒートポンプシステムの特徴がわかる。	
授業形態	講義	07) シンクハズ症候群の概要とそれに対応する最新の換気システム（RPA、シロコフン等）についてわかる。	
作成者	大室浩明	08) 太陽熱集熱器、太陽光発電、太陽光温水、太陽光パネル等、太陽光と利用した省エネシステムの概要がわかる。	
教科書	インテリアコーディネーターハンドブック総合版	09) エアコン住宅等、最新のバリアフリー化の原理がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 上記9項目を踏まえ「省エネ基準適合住宅の義務化」に向けて10としての姿勢を準備できる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	(4)(7)		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052208	科目コード	1032602
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：高齢者が増えた観点からも住宅整備の必要性が叫ばれています。2000年からスタートした介護保険制度を背景として福祉住環境コーディネーター検定試験3級の合格を目指します。	
年度	2025年度	学習内容：上記3級公式テキストに基づく受験対策講座です。介護保険制度の実施による、福祉と住環境の様々な連携事項について理解し学びます。	
学年	2年次		
期	2		
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	資格対策講座12	01) 福祉用具の定義、役割、分類についてわかる。	
単位	1	02) 様々な杖、歩行者、車椅子の使用目的と機能についてわかる。	
履修時間	15	03) 福祉住環境整備のための段差解消技術、手すりの選択、適切な建具選択等ができる。	
回数	8	04) 福祉住環境整備のための浴室、洗面脱衣室、トイレの適切な設備機器の選択と設計ができる。	
必修・選択	必修	05) 介護保険に適用されるすべての福祉用具の商品知識をもち、これを選択できる。	
省庁分類	-	06) 介護保険に適用される住宅改修の概要がわかる。	
授業形態	講義	07) 認知症や廃用症候群等の高齢者特有の主な疾病の特徴と症状がわかる。	
作成者	大室浩明	08) 肢体不自由者、視覚障害者、聴覚言語障害者等、主な障害者の特徴と症状がわかる。	
教科書	福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト	09) ライフスタイルの変化に伴う、ケアハウス、コルティイブハウジング等の新しい高齢者の住まい方がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 住宅だけではなく街づくりレベルでの福祉住環境の国の施策、方針、現状がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑨		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052209	科目コード	2030202
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：住宅設計やインテリアデザインにおいて設計条件や計画敷地の検討は必須であり、設計実習においても実際のデザイン現場と同じ過程で課題に取り組む必要がある。2年2期は住空間の総合的かつ実践的な提案を行います。	
年度	2025年度	学習内容：二世帯住宅の設計。設計にあたり各種条件の理解と把握、敷地調査の実施、関連法規に関する計算・作図などを行い、より実践的な設計課題に取り組む。更に新たなインテリアリスト・ライフスタイルの提案を行います。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	2		
教科名	建築設計製図		
科目名	建築設計製図10	01) 設計条件（良好な住環境の提案／家族のつながりへの提案）がわかる。	
単位	1	02) 敷地条件（敷地所在地と面積／周辺環境／関連法規／その他の与条件）がわかる。	
履修時間	30	03) 建築条件（施主の家族構成／空間構成への要望／外部空間の要望／空間リストへの要望）がわかる。	
回数	15	04) 敷地の調査方法（形状、各種境界線、高低差、前面道路・遊歩道の状況、交通状況など）がわかる。	
必修・選択	必修	05) 住宅の設計事例から、その空間構成やインテリアデザインの特徴がわかる。	
省庁分類	31. ①建築設計製図	06) 設計課題の対象敷地において敷地調査を行い、「敷地環境調査シート」の作成ができる。	
授業形態	実習	07) 敷地条件の関連法規に関する計算や作図（建蔽率・容積率の計算／高さ制限斜線の作図など）ができる。	
作成者	島田祐輔	08) 二世帯住宅の「基本計画案A・B・C案（3案）」の設計ができる。	
教科書	サブテキスト	09) 基本計画案の「計画のねらい」「計画の特徴」「計画の問題点」を挙げ、3案の比較検討ができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 基本計画案の比較検討により、二世帯住宅の最終案（新たなインテリアリストの提案）の設計ができる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。	
該当DP	⑤⑥⑦⑧⑨		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3052210	科目コード	2030702
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：施工図面、詳細図面などは、建築物を建設する際に必ず必要とされます。建築業界で最も普及しているAutoCAD応用編として商業施設の施工図作図実習を行います。	
年度	2025年度	学習内容：AutoCADソフトを使用し施工図作成技術を身につけ、建築施工図全般を理解します。特に2期では展開図（S=1/30）、家具図（S=1/10）の作図技術を身につけます。	
学年	2年次		
期	2		
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築設計製図15	01) 施工図全般（平面図・天井伏図・設備図・展開図・家具図・各種詳細図）の作図概要がわかる。	
単位	1	02) 平面図と展開図の関係、展開図と断面図の違いを理解し、また4面の展開図からその空間を立体的にわかる。	
履修時間	30	03) 展開図を見て、床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げが理解でき、その塗装仕様、素材メーカーがわかる。	
回数	15	04) 上記展開図（S. 1/30）のトレース作図がAutoCADを使用してできる。	
必修・選択	必修	05) 家具図を見て、その家具が立体的にイメージでき、その仕様（木質、塗装、仕上げ等）がわかる。	
省庁分類	31. ①建築設計製図	06) 上記家具図（S. 1/10）のトレースが作図AutoCADを使用してできる。	
授業形態	実習	07) 建具詳細図（S. 1:10）を見てその仕様（素材・塗装等）や納まりがわかり、立体的にイメージできる。	
作成者	大室浩明	08) 製作サッシ、ガラス間仕切り等のサッシ詳細図（1:10）の仕様、納まりがわかり立体的にイメージできる。	
教科書	サブテキスト	09) 電気図と平面図の関係を理解し、照明、設備の各種記号の意味がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑩		
備考	商業施設のデザイン事務所での設計・デジタルシミュレーション業務インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3032211	科目コード	2040502
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：将来、実務において仕事を進めていくためには、専門性だけでなく、問題発見能力・問題解決能力・コミュニケーション能力などの「社会性（社会で活躍する力）」を身につけていることが重要です。	
年度	2025年度	学習内容：2期においては、専門性をとおしてどのような問題解決に取り組むか、仲間と話し合いながら自分たちが取り組む課題の発見・設定に取り組めます。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	2		
教科名	リアルジョブプロジェクト		
科目名	リアルジョブプロジェクト5	01) 問題発見に向け、関連する情報を収集することができる。	
単位	1	02) 問題発見に向け、収集した情報を整理・分析・考察することができる。	
履修時間	30	03) 問題発見に向け、技術者としての問題意識をもって、現状の問題点を指摘することができる。	
回数	15	04) 問題発見に向け、グループディスカッション等において他者の話を聞くことができる。	
必修・選択	必修	05) 問題発見に向け、グループディスカッション等において自分の意見を伝えることができる。	
省庁分類	-	06) 問題発見に向け、グループで話し合った内容を、適切にまとめ、報告することができる。	
授業形態	実習	07) 問題設定に向け、これまでに修得した専門知識・技術を活用することができる。	
作成者	白井雅哲	08) 問題設定に向け、筋道をたてて（論理的に）考えることができる。	
教科書	-	09) 問題設定に向け、現状の問題点から解決すべき課題を提案することができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 問題発見をとおして設定した課題の社会的な意義等を適切に説明することができる。	
最終確認者	井坂 昭司	評価方法	
実務教員	○	①授業評価は「学習評価ルーブリック表」を用いて授業ごとに実施する。	
該当DP	-	②履修判定評価は「履修判定評価ルーブリック表」を用いて期末に実施する。	
備考		③個々の学生の成長を「学生成長評価ルーブリック表およびレーダーチャート」を用いて記録する。	
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務を経験。企画業務でのプロジェクトマネージメント経験を活かし科目を担当。		

No	3053201	科目コード	1030302
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：人間の知覚において大半は視覚であり、照明は視覚を構成する重要な空間要素の1つです。建築・インテリアに必要な実践的な照明知識と照明計画を包括的に学習します。	
年度	2025年度	学習内容：1年次で学んだ照明の基礎知識を土台として、16資格試験出題の単位、光源、用語の解説や実践的な照明計画、照度計算などを講義や実技を通じて学習します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	3		
教科名	建築計画	01) 照明の単位や用語がわかる。	
科目名	建築計画8	02) 色温度、演色性などの光の評価方法がわかる。	
単位	1	03) 白熱灯、蛍光灯、HIDランプ、LEDなど用途や特性がわかる。	
履修時間	15	04) 照明器具の種類、名称、用途や使い方がわかる。	
回数	8	05) ショールームなどで実際の照明器具に触れ、照明のデザインや設計思想がわかる。	
必修・選択	必修	06) 空間の用途に応じた明るさや照明手法がわかる。	
省庁分類	21.③建築環境工学	07) 照明の調光や3路スイッチ、センサーなど照明設備の運用方法についてわかる。	
授業形態	講義	08) 空間の用途や明るさに合わせて照明器具の種類や数量を選定できる。	
作成者	篠塚泉	09) 住宅の照明計画ができる。	
教科書	サブテキスト	10) 住宅の照度計算をソフトウェアを使用してできる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	⑤⑦		
備考	照明デザイン事務所にて照明の設計業務に携わり、照明全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3053202	科目コード	1030902
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：適材適所に材料を選択し、適切に施工の知識を身に付けることを目的に学習します。また、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指すために必要となるタイル石材の知識を身に付けるため学習します。	
年度	2025年度	学習内容：タイルの製法・種類、適材を適所に用いることができるよう基本事項を学びます。石材に関しては、種類によって採用可能な箇所が大きく異なり、石材種別ごとの特性を把握し、施工方法や留意点を学習します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	3		
教科名	建築材料	01) タイルの歴史や素地質による分類、特質や製造方法（成型方法、釉の有無等）がわかる。	
科目名	建築材料4	02) タイルの種類（内装（壁）タイル、外装（壁）タイル、床タイル、タイル張り）がわかる。	
単位	1	03) タイルの施工方法（手張り、先付け、乾式）、タイル張りの下地、張り付け材料、目地材料と目地形状がわかる。	
履修時間	15	04) 石材の種類（火成岩、水成岩、変成岩、花崗岩、安山岩、石灰岩、凝灰岩、砂岩、粘板岩、大理石）がわかる。	
回数	8	05) 石材のそれぞれの種類による性質がわかる。	
必修・選択	必修	06) 石材の適材適所の使用方法、仕上と施工方法がわかる。	
省庁分類	25. ⑦建築材料	07) 校外学習：企業のショールームで実物をとおして、タイルの特質、原料、製造工程、成型方法等の基本事項がわかる。	
授業形態	講義	08) 校外学習：企業のショールームで実物をとおして、石材の種類、特徴、仕上、施工方法等の基本事項がわかる。	
作成者	高山寿一郎	09)	
教科書	サブテキスト	10)	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	⑥⑦		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務・インテリア全般の材料の知識を活かし科目を担当。		

No	3053203	科目コード	1031002
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：左官材料と塗装材料の一般的知識を身に付けることを目的に学習します。また、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指すために必要となる塗装左官材の知識を身に付けるため学習します。	
年度	2025年度	学習内容：左官材料の種類や特徴、硬化プロセス（気硬性や水硬性）、左官工事の基本事項及び、塗装材料の種類や特徴、両分野の工事に関する基本事項を学習します。また、校外学習等で塗の体験も行います。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	3		
教科名	建築材料		
科目名	建築材料5	01) 左官材料の一般的な基本事項と硬化プロセス（気硬性や水硬性）がわかる。	
単位	1	02) 左官工事の基本事項（下塗りの表面処理と乾燥、モルタルの割合と厚さ）がわかる。	
履修時間	15	03) 左官材料の種類（ポルトランドセメント、石膏、ドロマイト、しっくい等）と特徴がわかる。	
回数	8	04) 塗料の一般的な基本事項（概要、基本的分類、構成要素（顔料、樹脂類、溶剤）等）がわかる。	
必修・選択	必修	05) 接着剤の種類（一液乾燥型、化学反応型、熱溶融型、粘着型）や基本事項がわかる。	
省庁分類	25.⑦建築材料	06) 塗料の種類（油性、合成樹脂、ニス、ラッカー、漆・カシュー樹脂）と特徴がわかる。	
授業形態	講義	07) 塗装工事の基本事項がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) 学内体験学習：企業の方から説明を受け、珪藻土の基本事項から深い知識まで得ることができる。	
教科書	サブテキスト	09) 学内体験学習：左官の体験授業をととして、左官作業の難しさ、楽しさがわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 校外学習：：企業のショールームで体験授業をととして、塗装作業の難しさ、楽しさがわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑥⑦		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務・インテリア全般の材料の知識を活かし科目を担当。		

No	3053204	科目コード	1031902
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：数多くの建築材料の適材適所の選択が出来るように学習を行います。また、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指すために必要となる建築材料の知識を身に付けるため学習します。	
年度	2025年度	学習内容：各種構造の床、壁、天井の下地・仕上材（壁紙、木質系、無機質系、プラスチック、畳、タイル、石材、塗装材、左官材）と、材料に関する法規、マークを学習します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	3		
教科名	資格対策講座	01) 天井に求められる性能（断熱性能、遮音性能、吸音性能、防露性能、防水性能、耐火性能等）がわかる。	
科目名	資格対策講座5	02) 各種構造の天井の下地の種類、仕上り材料の種類（壁紙、木質系、無機質系等）がわかる。	
単位	1	03) 天井の施工方法がわかる。	
履修時間	15	04) 床に求められる性能（耐摩耗性、耐衝撃性、耐水性、防水性、耐熱性、防滑性、断熱性等）がわかる。	
回数	8	05) 各種構造の床の下地の種類、仕上り材料の種類（プラスチック、畳、タイル、石材、塗装材等）がわかる。	
必修・選択	必修	06) 床の施工方法がわかる。	
省庁分類	-	07) 壁に求められる性能（防火性能、防水性能、防汚性能、防カビ性能、遮音性能、断熱性能等）がわかる。	
授業形態	講義	08) 各種構造の壁の下地の種類、仕上り材料の種類（壁紙、木質系、無機質系、タイル、石材、塗装材等）がわかる。	
作成者	高山寿一郎	09) 壁の施工方法がわかる。	
教科書	サブテキスト	10) 壁紙に関する規格・品質表示やインテリアに関する法規やマークがわかる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	④⑤⑥⑦		
備考	設計事務所に建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3053205	科目コード	1032002
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：主役ではないが、生活を豊かにするインテリアになります。基本事項を学び、住宅のCG作成時に活かします。また、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指すために必要となるインテリアの知識を身に付けるため学習します。	
年度	2025年度		
学年	2年次	学習内容：主役ではないが暮らしの中で欠くことのできないインテリアの要素として、インテリア、グリーンとインテリア、インテリアとキッチン用品、という異なった3つのジャンルの基礎知識を学習し、現在の生活の中での位置づけ知ります。	
期	3		
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	資格対策講座6	01) インテリアの高いインテリアの仕上げとして、本物のアートと手軽に楽しめるインテリア小物に関して、基本事項がわかる。	
単位	1	02) インテリアの中でのアートを中心に、アートの種類（技法）がわかる。	
履修時間	15	03) 美術館にある作品だけがアートではないことがわかる。	
回数	8	04) 家具や設備、内装材以外のインテリア要素として、アートや小物のコーディネート仕方がわかる。	
必修・選択	必修	05) 空間の仕上として、アートや雑貨までインテリアとして提案できる。	
省庁分類	-	06) インテリアグリーン（観葉植物）について種類や特徴など基本事項がわかる。	
授業形態	講義	07) インテリアグリーンのインテリアへの取り入れ方がわかる。	
作成者	鈴木俊恵	08) 住空間の外回りとしてのインテリアの基本事項がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 洋の食卓とキッチン用品（調理道具）の種類などの基本事項がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) 和の食卓と伝統の設え（茶室の設え）の基本事項がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	(4)(7)		
備考	インテリアコーディネーターの業務でのインテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3053206	科目コード	2030302
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアにおいてデザイン提案は実務上において重要であり、特にCADや3DCGなどのデジタルツールを用いたプレゼンテーションは必須と言えます。それらを用いた実践的なプレゼンテーション実習が必要になります。	
年度	2025年度		
学年	2年次	学習内容：二世帯住宅設計のプレゼンテーション実習。2年3期では二世帯住宅最終案の図面、コンセプト、グラフィックなどをプレゼンテーションボードにまとめ、デジタルツールを用いた表現手法により実践的に学びます。	
期	3		
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築設計製図11	01) 設計プロセス（設計条件・敷地条件・建築条件・インテリア要素・二世帯住宅の最終案）がわかる。	
単位	1	02) 図面（配置図・平面図・立面図・断面図・展開図等）の適切なドローイング表現手法がわかる。	
履修時間	30	03) 文字情報（タイトル・コンセプト・キャプション・キーワード等）の体系的グラフィック表現手法がわかる。	
回数	15	04) 3DCG、手描きスケッチ（外観、内観、インテリア等）のグラフィック表現手法がわかる。	
必修・選択	必修	05) レアウト（プレゼンテーションボード）のビジュアル表現方法がわかる。	
省庁分類	32.⑩その他	06) 自分の設計プロセスを取り纏めて、プレゼンテーションとして構成することができる。	
授業形態	実習	07) 二世帯住宅の各図面を、線種、着色、陰影、漆景などのドローイング表現を用いて作図できる。	
作成者	島田祐輔	08) 設計タイトル、コンセプトなどの文字情報を、デザインに合わせた書体構成や文字組みなどができる。	
教科書	サブテキスト	09) 3DCG（パース、インテリア等）などのグラフィックを、設計主旨に即した表現によって作図ができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 図面、文字情報、グラフィックなどをビジュアルとして美しく、かつ設計意図が伝わるようにレイアウトできる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。	
該当DP	②④⑤⑥⑦⑧⑨		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3033207	科目コード	2040602
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：将来、実務において仕事を進めていくためには、専門性だけでなく、問題発見能力・問題解決能力・コミュニケーション能力などの「社会性（社会で活躍する力）」を身につけていることが重要です。	
年度	2025年度		
学年	2年次	学習内容：3期においては、前期に設定した課題をどのように解決していくのか、他の学科や企業との連携もふまえ、その解決策の「企画提案」に取り組んでいきます。	
期	3		
教科名	リアルジョブプロジェクト	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	リアルジョブプロジェクト6	01) 問題解決に向け、関連する情報を収集することができる。	
単位	1	02) 問題解決に向け、収集した情報を整理・分析・考察することができる。	
履修時間	30	03) 問題解決に向け、グループディスカッション等において他者の話を聞くことができる。	
回数	15	04) 問題解決に向け、グループディスカッション等において自分の意見を伝えることができる。	
必修・選択	必修	05) 問題解決に向け、グループで話し合った内容を、適切にまとめ、報告することができる。	
省庁分類	-	06) 問題解決に向け、これまでに修得した専門知識・技術を活用することができる。	
授業形態	実習	07) 問題解決に向け、筋道をたてて（論理的に）考えることができる。	
作成者	白井雅哲	08) 問題解決に向け、技術者として解決のための方法や手順を提案することができる。	
教科書	-	09) 問題解決に向け、工程表および予算書を提案することができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 問題解決に向け、解決のための方法や手順を計画書(企画書)にまとめることができる。	
最終確認者	井坂 昭司	評価方法	
実務教員	○	①授業評価は「学習評価ルーブリック表」を用いて授業ごとに実施する。 ②履修判定評価は「履修判定評価ルーブリック表」を用いて期末に実施する。 ③個々の学生の成長を「学生成長評価ルーブリック表およびレーダーチャート」を用いて記録する。	
該当DP	-		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務を経験。企画業務でのプロジェクトマネージメント経験を活かし科目を担当。		

No	3053208	科目コード	2060202
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：10月に行われるインテリアコーディネーター資格試験合格を目指すため、インテリアコーディネーターの幅広い学習分野の問題に多く触れ、得点アップを図ります。	
年度	2025年度		
学年	2年次	学習内容：インテリアコーディネーターの過去問題集、外部団体の模擬問題を使用し、インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲全般を学習します。	
期	3		
教科名	インテリアコーディネーター集中講座2	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	インテリアコーディネーター集中講座2	01) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲のインテリアの歴史がわかる。	
単位	1	02) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲のインテリア計画がわかる。	
履修時間	30	03) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲の環境工学がわかる。	
回数	15	04) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲の構造と施工がわかる。	
必修・選択	必修	05) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲の表現技法がわかる。	
省庁分類	-	06) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲の色彩と造形がわかる。	
授業形態	研修	07) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲の建築関連法規がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲の住宅設備がわかる。	
教科書	インテリアコーディネーター1次試験過去問題	09) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲の材料がわかる。	
確認者	高山寿一郎	10) インテリアコーディネーター一次試験（学科）出題範囲の住宅と社会がわかる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	④⑤⑥⑦		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No		3054201	科目コード	1031102
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：建築基準法は建築物の敷地、構造、設備及び用途についての最低基準を定めたものであり、国民の生命、健康、財産の保護を図り、公共の福祉の増進に役立つことを目的とした設計者には取得不可欠な法律です。		
年度	2025年度	学習内容：建築基準法の概要を把握、理解し、住宅設計に必要な建築基準法の法令文を法令集から正確に引用、行使できる方法を解説、学習します。		
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
期	4			
教科名	建築法規	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	建築法規Ⅰ	01) 建築基準法の概要と学ぶ必要性、法令の体系及び、条文を検索することと読むことができる。		
単位	1	02) 建築、建築物、防火に関する用語の定義がわかり、それら用語の定義の条文を検索できる。		
履修時間	15	03) 敷地面積、建築面積、床面積、延床面積の定義がわかり、建築面積等の面積算定ができる。		
回数	8	04) 地盤面、建築物の高さ、最高高さ、階数、軒の高さ、地階の定義がわかり、高さ、階数等の算定ができる。		
必修・選択	必修	05) 建築主、設計者、工事施工者、工事監理者、特定行政庁、建築主事等の建築基準法上の定義がわかる。		
省庁分類	28. ⑨建築法規	06) 確認申請、中間検査、完了検査の定義と手続き方法がわかる。		
授業形態	講義	07) 道路の定義、敷地と建築物と道路の関係がわかり、法42条2項道路に対する敷地面積計算ができる。		
作成者	丸山千春	08) 都市計画区域、用途地域の種類、用途地域による建築用途制限の内容がわかる。		
教科書	サブテキスト	09) 建蔽率、容積率の定義がわかり、建蔽率、容積率制限に関する面積算定ができる。		
確認者	高山寿一郎	10) 高さに関する各種斜線制限の種類と防火地域、準防火地域の相違がわかる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	⑧⑨			
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。			

No	3054202	科目コード	1031302
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：構造力学は建築物に建設時の、人の「生命」や「財産」を守るとても重要な確認ツールです。インテリアにおいてもリフォーム時の柱・梁の必要性の検討や、家具・装飾を取り付ける際の荷重計算などの検討に必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：構造物に掛かる荷重の流れ（外から掛かる荷重と反力、部材の内部で発生している応力の基礎まで）を学習します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	4		
教科名	構造力学		
科目名	構造力学I	01) なぜインテリア・建築を志す上で構造力学の知識が必要なのかわかる。	
単位	1	02) 構造力学を理解する上で基礎となる力をイメージ図でわかる。	
履修時間	15	03) 力の釣合いをイメージ図だけではなく、モーメントを利用し力の釣り合いを求めることができる。	
回数	8	04) 構造物の形状や、荷重の種類や支点での反力の種類等、構造物の基本がわかる。	
必修・選択	必修	05) 構造物の支点（移動・回転・固定）に発生する反力（水平・垂直・回転）がわかる。	
省庁分類	23. ⑤構造力学	06) 反力や安定・静定を算式解法で求めることができる。	
授業形態	講義	07) 三角関数の基礎がわかる。	
作成者	高山寿一郎	08) 応力の種類を理解し、N図・Q図・M図が作成できる。	
教科書	サブテキスト	09) 単純梁・片持ち梁の応力を求め、応力図が作成できる。	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑧		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No		3054203	科目コード	1032102
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由		
科	305. インテリア科	必要性：インテリアコーディネーター資格試験2次の対策講座だが、自分の考えを人に伝えられるように論理的な文章を書くことを学びます。社会に出ると求められる文章を書く機会が増える為、簡潔でわかりやすい文章が求められます。		
年度	2025年度	学習内容：文章を書くためのいくつかのポイントを押さへ、実際に文章を書く訓練を重ねることで、文章作成力の向上を目指します。毎回の授業で小論文作成の実習を行い、社会に出て役立つ文章力を身につけます。		
学年	2年次			
期	4			
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目		
科目名	資格対策講座7	01) 文章を書くための基本のルール（原稿用紙の使い方など）がわかる。		
単位	1	02) 論理的な文章の構成（結論をしっかりと書く・その理由、具体例を挙げる・短文で書く）がわかる。		
履修時間	15	03) 自分の考えを文章で表現できる。		
回数	8	04) 自分が書く文章の分量や時間配分が調整できる。		
必修・選択	必修	05) ヒートショックと暖房計画についての論理的な文章が作成できる。		
省庁分類	-	06) エコライフ（環境・省エネ）のポイントをおさえ論理的な文章が作成できる。		
授業形態	講義	07) リフォーム（住んでいる住宅のリフォーム・中古住宅を買ってリフォーム）についての論理的な文章が作成できる。		
作成者	鈴木俊恵	08) 施主の予算と実際のプラン見直しとの差について、解決方法等を理解し、論理的な文章が作成できる。		
教科書	サブテキスト	09) 家族の変化（子育て中・二世帯・多世帯住宅・ベッタと暮らす）を理解し、論理的な文章が作成できる。		
確認者	高山寿一郎	10) 今どきの暮らしとインテリアについて学び、それらに関する論理的な文章が作成できる。		
最終確認者	井坂昭司	評価方法		
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。		
該当DP	⑦⑧⑨			
備考	インテリアコーディネーターの業務でのインテリア全般の知識を活かし科目を担当。			

No		3054204	科目コード		1032202
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由			
科	305. インテリア科	必要性：顧客の要求を図面で表現するスキルはインテリアデザイナーに於いて必要不可欠です。インテリアデザイナー2次試験に対応し、かつ顧客の要求に応じた実践的なLDKのプランニング手法を学びます。			
年度	2025年度	学習内容：「木造戸建住宅のLDK計画」「独立したキッチンを持つワンルームマンション」等、全6テーマについてインテリアデザイナー2次試験過去問題を通してプランニング手法について学びます。			
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目			
期	4				
教科名	資格対策講座	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目			
科目名	資格対策講座8	01) キッチンに関連する主要寸法（高さ、奥行き、長さ、シンク・レンジ・冷蔵庫等）がわかる。			
単位	2	02) 上記の規格寸法に沿ってキッチンのレイアウト計画S.1/50（I型・II型・アイランド型・ベニッシュ型等）ができる。			
履修時間	30	03) ダイニングルームに関連する主要寸法（ダイニングテーブル、ダイニングチェア、食器棚、照明計画等）がわかる。			
回数	15	04) 上記の規格寸法に沿ってキッチンの動線を考慮したダイニングルームのレイアウト計画（S=1/50）ができる。			
必修・選択	必修	05) 居間に関連する主要寸法（ソファ、イメージチェア、TV、飾り棚、ロゼット、照明計画等）がわかる。			
省庁分類	-	06) 上記の規格寸法に沿って、ダイニングキッチンの動線と連動したLDK計画（S=1/50）ができる。			
授業形態	講義	07) 主寝室や子供室に関連する主要寸法（各種ベッド、各種ワードローブ、ナイトテーブル等）がわかる。			
作成者	大室浩明	08) 上記の規格寸法に沿って、主寝室や子供室のレイアウト計画（S=1/50）ができる。			
教科書	サブテキスト	09) LDKの展開図（S=1/50）の作成ができる。			
確認者	高山寿一郎	10) LDKの透視図（741メトリックノード）の作成ができる。			
最終確認者	井坂昭司	評価方法			
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。			
該当DP	③				
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。				

No	3054205	科目コード	2030402
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：商業施設は多種多様な業種があり、時代の先を行く提案や場所の特性を活かした提案など様々な要件が求められます。実務ではグループプロジェクトを行うことから、グループによる設計提案に取り組む必要性があります。	
年度	2025年度	学習内容：『商業施設の基本計画』の実習を行います。グループによる敷地選定・敷地調査、テーマ設定、マスタープラン計画と、個人計画による空間イメージと基本計画図の作成に取り組み、新たな商業施設を提案します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	4		
教科名	建築設計製図	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築設計製図12	01) コンセプトメイキング（アイディアの選択過程／スケッチの活用方法）の手法がわかる。	
単位	1	02) 商業施設の実例を通して、インテリア空間の空間構成、デザイン手法がわかる。	
履修時間	30	03) 商業施設の概論（商業施設の部門構成／空間構成／店舗種類／店舗計画）がわかる。	
回数	15	04) 商業施設の新たなあり方（バリエーション空間とは／残余空間の活用／ファーストとは）がわかる。	
必修・選択	必修	05) 店舗の空間構成（ゾーニング／基本計画／部分計画）がわかる。	
省庁分類	32. ⑩その他	06) 商業施設ケーススタディ（飲食店・物販店）のショップイメージの作成ができる。	
授業形態	実習	07) グループによる『敷地選定』、『敷地調査（現状把握／周辺環境／交通状況等の調査）』ができる。	
作成者	島田祐輔	08) グループによる施設全体の『テーマ設定』、『マスタープランの計画』ができる。	
教科書	サブテキスト	09) マスタープランに基づき、個人計画部分の『空間イメージ』の作成ができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 個人計画部分の空間イメージに基づき、『基本計画図』の作成ができる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。	
該当DP	⑩		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3054206	科目コード	2030802
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：静止画や文字だけでは伝わりにくいイメージを伝える為、アニメーションを取り入れたプレゼンテーションは頻繁に行われています。顧客へ完成イメージなどを動画で表現する方法はインテリアを志す者として覚えておきたいスキルになります。	
年度	2025年度		
学年	2年次	学習内容：今まで学んできたShade3Dを発展させ、ジョイントやモーション設定を学び、動画編集ソフトであるAdobePremiereを学習し、それらを組み合わせ動画の作成を行います。	
期	4		
教科名	建築表現技法	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
科目名	建築表現技法3	01) アニメーション・動画の基礎知識を学び、フレーム・コマの概念がわかる。	
単位	1	02) Shadeアニメーションのモーション・ジョイントの基礎を学び、動画の作成ができる。	
履修時間	45	03) 様々なジョイントの使用方法を学び、自由自在に3D空間で物体を動かすことができる。	
回数	23	04) ボールジョイント・カメラオブジェクトの操作を学び、自由自在にカメラワークを作成できる。	
必修・選択	必修選択	05) モーション検証をし、実際に動画撮影を行い、人の視線の動き方がわかる。	
省庁分類	-	06) 絵コンテを学び、各自制作する作品のストーリーを考え、絵コンテの作成ができる。	
授業形態	実習	07) AdobePremiereの基礎を学び、ファイルの取り込み方法や基本的なインターフェースの理解がわかる。	
作成者	村田涼	08) AdobePremiereでの動画・画像・音声を組み合わせて編集し、動画の書き出し・作成ができる。	
教科書	サブテキスト	09)	
確認者	高山寿一郎	10)	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。	
該当DP	③		
備考	商業施設のデザイン事務所での設計・デジタルシミュレーション業務インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3054207	科目コード	2030902
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリア業務に於いては空間の理解だけでなく、家具や照明などのポイントの理解も必要不可欠です。これらの相互の知識習得によって初めてインテリアの本質が見えてきます。	
年度	2025年度	学習内容：1年次の家具製作を踏まえて、2年次では自分で家具をデザインして製作するまでのプロセスを学びます。家具の基本的な知識、実製作のためのデザイン作業を習得します。人の使用に耐えうるデザインや構造を目指します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	4		
教科名	建築造形実習	01) 家具の歴史やデザインに関するケーススタディを見ることによって、より具体的な知識を深めることができる。	
科目名	建築造形実習3	02) 家具の材料に関するケーススタディを見ることによって、より具体的な知識を深めることができる。	
単位	1	03) 家具の構造に関するケーススタディを見ることによって、より具体的な知識を深めることができる。	
履修時間	45	04) インテリアや建築ではない、家具図面の描き方がわかる。	
回数	23	05) 透視図によるスケッチの描き方がわかる。	
必修・選択	必修選択	06) 模型があることによって3面図の見方や展開がわかる。	
省庁分類	-	07) 模型を作ることによって、イメージやスケッチが立体としてわかる。	
授業形態	実習	08) スケッチボードで1/5の家具模型を作ることができる。	
作成者	朝山 隆	09) CADで家具図面を描くことができる。	
教科書	サブテキスト	10) 3面図やパース、木取り図など、製作するまでに用意するものがわかる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	⑤		
備考	家具のデザイン事務所での家具設計の業務に携わり、家具の歴史、家具製作、木質材料の知識を活かし科目を担当。		

No	3054208	科目コード	2031202
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：建物を建設する時には、基準となる高さや面積等の情報が必要であり、測量実習ではそれらの情報を測量道具を使用し得ることができます。インテリアを志す者にとってもその知識は必要不可欠となります。	
年度	2025年度	学習内容：測量を行なう為に必要な測量方法（平板測量・水準測量）の知識と、道具（レベル・水準器等）の知識を学び、実際のフィールドでグループで測量を行います。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	4		
教科名	測量実習	01) 測量と建築がどのような関りがあり、なぜ必要なのかわかる。	
科目名	測量実習	02) 平板測量の原理と特徴、平板測量器具（平板・レベル・求心器・下げ振り等）がわかる。	
単位	1	03) 平板測量器具を使用し、正しく標定（整準・求心・定位）ができる。	
履修時間	30	04) 平板測量放射法と道線法の原理と違いがわかる。	
回数	15	05) 平板測量器具を使用し、平板測量放射法の実習ができる。	
必修・選択	必修	06) 平板測量器具を使用し、平板測量道線法の実習ができる。	
省庁分類	32. ⑩その他	07) 平板測量実習後の図面を求積図として作成できる。	
授業形態	実習	08) 水準測量の原理と特徴、水準測量で使用する測量器具（レベル・標尺等）がわかる。	
作成者	高山寿一郎	09) 水準測量の原理がわかる。	
教科書	サブテキスト	10) 測量機器の使い方を理解し、直接水準測量の実習（閉合水準測量）ができる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	-		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、施工計画全般の知識を活かし科目を担当。		

No3034209		科目コード2040702
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由 必要性：将来、実務において仕事を進めていくためには、専門性だけでなく、問題発見能力・問題解決能力・コミュニケーション能力などの「社会性（社会で活躍する力）」を身につけていることが重要です。 学習内容：4期においては、前期までに自分たちで考えた解決策にしたがい、仲間とともに解決策の実施に取り組んでいきます。
科	305. インテリア科	
年度	2025年度	
学年	2年次	
期	4	
教科名	リアルジョブプロジェクト	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目
科目名	リアルジョブプロジェクトⅦ	01) 問題解決に向け、計画書(企画書)にそって計画を実行することができる。 02) 問題解決に向け、これまでに修得した専門知識・技術を活用することができる。 03) 問題解決に向け、仲間と協力して行動することができる。 04) 問題解決に向け、粘り強く取り組むことができる。 05) 問題解決に向け、工程および予算を管理することができる。 06) 問題解決に向け、計画の進捗状況を把握・記録・報告することができる。 07) 問題解決に向け、技術者として計画の進捗状況から新たな問題点を発見することができる。 08) 問題解決に向け、新たな問題点の解決策を筋道をたてて(論理的に)考えることができる。 09) 問題解決に向け、新たな問題点の修正案を立案することができる。 10) 問題解決に向け、修正案を実行することができる。
単位	1	
履修時間	30	
回数	15	
必修・選択	必修	
省庁分類	-	
授業形態	実習	
作成者	白井雅哲	
教科書	-	
確認者	高山寿一郎	
最終確認者	井坂 昭司	評価方法
実務教員	○	①授業評価は「学習評価ルーブリック表」を用いて授業ごとに実施する。 ②履修判定評価は「履修判定評価ルーブリック表」を用いて期末に実施する。 ③個々の学生の成長を「学生成長評価ルーブリック表およびリーダーチャート」を用いて記録する。
該当DP	-	
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務を経験。企画業務でのプロジェクトマネジメント経験を活かし科目を担当。	

No	3055201	科目コード	1031202
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：建築基準法は建築物の敷地、構造、設備及び用途についての最低基準を定めたものであり、国民の生命、健康、財産の保護を図り、公共の福祉の増進に役立つことを目的とした設計者には取得不可欠な法律です。	
年度	2025年度	学習内容：建築法規1に引き続き、建築基準法の概要を把握、理解し、住宅設計に必要な建築基準法の法令文を法令集から正確に引用、行使できる方法を解説、学習します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	5		
教科名	建築法規		
科目名	建築法規2	01) 居室の定義と必要な天井・床高さがわかり、居室の採光、換気に関する必要開口部面積が計算できる。	
単位	1	02) 階段各部の名称と必要寸法、踊り場と手摺の必要設置寸法を知り、片側・両側居室での必要な廊下幅がわかる。	
履修時間	15	03) 避難経路に関しての単体規定を知り、直通階段までに必要な歩行距離や直通階段を平面図に計画できる。	
回数	8	04) 2方向避難の意味と2以上の直通階段の設置基準を知り、2つの避難経路における重複距離の計算ができる。	
必修・選択	必修	05) 避難階に於ける出入口までの必要最低歩行距離を知り、屋内、屋外避難階段・特別避難階段の構造がわかる。	
省庁分類	28. ⑨建築法規	06) 主要構造部、延焼の恐れのある部分の定義を知り、耐火・準耐火構造と耐火・準耐火建築物の関係性がわかる。	
授業形態	講義	07) 防火設備と特定防火設備の種類と必要な性能を知り、不燃・準不燃・難燃材料の不燃性能の違いが区別できる。	
作成者	丸山千春	08) 防火・準防火地域制限の違いを知り、法22条区域における木造建築に必要な防火性能と防火構造がわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 特殊建築物に必要な防火規定を防火、準防火地域内の規模による集団規定と用途別の単体規定から検索できる。	
確認者	高山寿一郎	10) 防火区画の種類と概要、必要な構造方法を知り、内装制限が必要な建築物と制限内容を法令集から検索できる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑧⑨		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3055202	科目コード	1031402
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：構造力学は建築物に建設時の、人の「生命」や「財産」を守るとても重要な確認ツールです。インテリアにおいてもリフォーム時の柱・梁の必要性の検討や、家具・装飾を取り付ける際の荷重計算などの検討に必要不可欠です。	
年度	2025年度	学習内容：複数の部材が組み合わさるラーメン構造での応力を求めることと、構造材料の力学的性質を知り、断面一次モーメントや断面二次モーメントという係数を学習します。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	5		
教科名	構造力学	01) 各種荷重の種類（集中荷重・等分布荷重・等変分布荷重・モーメント荷重）がわかる。	
科目名	構造力学2	02) 各種条件を整理して、反力を正確に求めることができる。	
単位	1	03) 単純梁におけるN（軸方向力）図・Q（せん断力）図・M（曲げモーメント）図を正確に描くことができる。	
履修時間	15	04) 単純梁におけるN図・Q図・M図における最大値や最小値の値を求めることができる。	
回数	8	05) ラメン構造での荷重の掛かり方を理解し反力を求め、応力図を描くことができる。	
必修・選択	必修	06) 構造材料の力学的性質（変形、応力度、歪度）を理解し、各種材料の特徴がわかる。	
省庁分類	23. ⑤構造力学	07) 断面一次モーメント何か、どのような場合に用いるのかわかる。	
授業形態	講義	08) 公式を使い断面一次モーメントの算出および図心の算出ができる。	
作成者	高山寿一郎	09) 断面二次モーメント何か、どのような場合に用いるのかわかる。	
教科書	サブテキスト	10) 公式を使い様々な断面形状の断面二次モーメントの算出ができる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	⑧		
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務に携わり、インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3055203	科目コード	2030502
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリアデザインにおいて設計内容は分かりやすくクライアントにプレゼンテーションされる必要があります。グループ・個人で計画した設計内容を、図面・模型など様々な表現手法を用いてビジュアル表現します。	
年度	2025年度	学習内容：今期では『商業施設の基本計画Ⅱ』の実習を行います。グループによるマスタープランと個人計画の図面・模型作成、プレゼンテーション制作を行い、新たな商業施設を提案します。	
学年	2年次		
期	5	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
教科名	建築設計製図	01) インテリア空間におけるデザインと素材（床・壁・天井・戸・窓）の特徴がわかる。	
科目名	建築設計製図13	02) 商業施設の平・立・断面図、展開図、天井伏図、建具詳細図の描き方がわかる。	
単位	1	03) インテリ模型の製作方法（敷地模型、インテリア模型、詳細模型）がわかる。	
履修時間	30	04) インテリ模型の表現方法（リフル表現、コンセプト表現）がわかる。	
回数	15	05) インテリ模型の撮影方法（撮影の基本、構図、ライティング）がわかる。	
必修・選択	必修	06) グループによる『マスタープラン計画』と、個人による『店舗計画』ができる。	
省庁分類	32. ⑩その他	07) マスタープランと個人店舗の『図面作成』ができる。	
授業形態	実習	08) コンセプトに沿った表現や素材の活用によって『模型製作』ができる。	
作成者	島田祐輔	09) コンセプトを的確に表現する『模型写真の撮影』ができる。	
教科書	サブテキスト	10) 計画をまとめて『プレゼンテーションの制作』ができる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	⑩		
備考	設計事務所での建築物の企画・設計業務・インテリアコーディネート全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3055204	科目コード	2031002
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：静止画や文字だけでは伝わりにくいイメージを伝える為、アニメーションを取り入れたプレゼンテーションは頻繁に行われています。顧客へ完成イメージなどを動画で表現する方法はインテリアを志す者として覚えておきたいスキルになります。	
年度	2025年度	学習内容：4期でShade・Premiereを用いてアニメーションを作成する基礎を学び、1分程度の動画を作成しました。今期では3分程度の作品を絵コンテから考え制作し、卒業作品として仕上げ、卒業制作発表会に臨みます。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	5	01) 絵コンテを学び、各自制作する作品のストーリーを考え、絵コンテの作成ができる。	
教科名	建築表現技法	02) アニメーション・動画の基礎知識を学び、フレーム・コマの概念がわかる。	
科目名	建築表現技法4	03) Shadeアニメーションのモーション・ジョイントの基礎を学び、動画の作成ができる。	
単位	1	04) 様々なジョイントの使用方法を学び、自由自在に3D空間で物体を動かすことができる。	
履修時間	45	05) ボールジョイント・カメラオブジェクトの操作を学び、自由自在にカメラワークを作成できる。	
回数	23	06) AdobePremiereの基礎を学び、ファイルの取り込み方法や基本的なインターフェースのがわかる。	
必修・選択	必修選択	07) AdobePremiereでの動画・画像・音声を組み合わせで編集し、動画の書き出しができる。	
省庁分類	-	08) Shade・Premiereを組み合わせ、3分程度の動画作品を制作することができる。	
授業形態	実習	09)	
作成者	村田涼	10)	
教科書	サブテキスト	評価方法	
確認者	高山寿一郎	期末に実施される履修判定試験（筆記・実技・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。	
最終確認者	井坂昭司		
実務教員	○		
該当DP	③		
備考	商業施設のデザイン事務所での設計・デジタルシミュレーション業務インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3055205	科目コード	2031102
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：インテリア業務に於いては空間の理解だけでなく、家具や照明などのインテリアの理解も必要不可欠です。自らデザインした家具を制作するために、1年次で得た家具製作の製作知識をより深める必要性があります。	
年度	2025年度	学習内容：4期の家具デザインを基に、材料の木取りや製材、ハーフ加工、研摩、接着、組み立て、塗装、フレキシボード作成、講評発表まで行います。製作の指導は基本的に個別に行い、二人の講師によって工具の使い方を学びます。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	5		
教科名	建築造形実習		
科目名	建築造形実習4	01) 木工機械の使い方がわかる。	
単位	1	02) 手工具の使い方がわかる。	
履修時間	45	03) 平面的な設計図からだんだん立体になっていくことで、頭の中での立体造形が養われるのがわかる。	
回数	23	04) 家具製作全般の製作工程（手順）がわかる。	
必修・選択	必修選択	05) 家具図面の読み取り方がわかる。	
省庁分類	-	06) 椅子の強度の問題点が現物によってわかる。	
授業形態	実習	07) 小さな模型が原寸大になって、ボリューム感など、その差異を知ることができる。	
作成者	朝山 隆	08) プレゼンテーションの発表によって、何を伝えるべきかがわかる。	
教科書	サブテキスト	09) 同級生が違うデザインの家具を制作しているのを見て、自分の制作の進捗状況を把握することができる。	
確認者	高山寿一郎	10) 座り心地や使い勝手が現物によって体感できる。	
最終確認者	井坂昭司	評価方法	
実務教員	○	期末に実施される履修判定試験において、60点以上（100点満点中）をもって合格とする。	
該当DP	⑤		
備考	家具のデザイン事務所での家具設計の業務に携わり、家具の歴史、家具製作、木質材料の知識を活かし科目を担当。		

No	3055206	科目コード	2031302
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：二級建築士試験設計製図編に対応します。卒業後の二級建築士受験の為に、受験対策予備講座となります。インテリアを志す者にとっても住宅や公共施設のプランニング及び、製図技術は必要不可欠となります。	
年度	2025年度	学習内容：住宅及びR/C小規模公共施設のプランニングについてはその設計のポイントを学ぶにとどまり、主に木造在来工法、R/Cラーメン構造の基本を理解するための作図実習（平面・断面・立面・矩形図）が学習の中心となります。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	5		
教科名	建築設計製図	01) 二級建築士試験の概要（スケジュール、試験内容等）、特に製図編については最近の出題傾向がわかる。	
科目名	建築設計製図16	02) 木造在来工法による住宅平面図S=1/100（確認申請レベル）が製図できる。	
単位	1	03) 上記において、通し柱、柱、筋交をバランスよく配置でき、木造住宅の基本構造がわかる。	
履修時間	30	04) 木造の矩形図から軒高、床高、窓高、屋根勾配等を考慮しながら断面図と立面図（S=1/100）が製図できる。	
回数	15	05) 小規模な公共建築（300㎡以下）の基本的な動線計画や建築計画がわかる。	
必修・選択	必修	06) RCラーメン構造の基本（地中梁、独立基礎、大梁、スラブ、壁厚等）とその寸法がわかる。	
省庁分類	-	07) RCラーメン構造の基本に基づき、矩形図S=1/20が製図できる。	
授業形態	実習	08) スラブ割に基づいた二級建築士に対応した小規模公共建築のプランニング方法がわかる。	
作成者	大室 浩明	09) RCラーメン構造の基本（柱の大きさ、壁厚、スラブ）に基づいた平面図S=1/100が製図できる。	
教科書	2級建築士試験設計製図テキスト	10) RCラーメン構造の矩形図に基づいた断面図と立面図（S=1/100）が製図できる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂昭司	期末に実施される履修判定試験（筆記・提出課題）により、100点満点中60点以上を合格とする。	
実務教員	○		
該当DP	③		
備考	住宅メーカーの設計部でのデザイン・設計業務・インテリア全般の知識を活かし科目を担当。		

No	3035207	科目コード	2040802
系	建築・インテリア系	シラバス（概要）⇒ 学習内容および学習の必要性・学習する理由	
科	305. インテリア科	必要性：将来、実務において仕事を進めていくためには、専門性だけでなく、問題発見能力・問題解決能力・コミュニケーション能力などの「社会性（社会で活躍する力）」を身につけていることが重要です。	
年度	2025年度	学習内容：5期においては、問題解決に向け解決策の実施に取り組むとともに、年度末に開催される学習成果報告会に向け、報告書および発表資料の取り纏めを行います。	
学年	2年次	科目目標（わかる目標・できる目標）⇒ 5項目以上～10項目以内、できれば10項目	
期	5		
教科名	リアルジョブプロジェクト	01) 問題解決に向け、問題点を発見し必要に応じて計画を修正することができる。	
科目名	リアルジョブプロジェクト8	02) 問題解決に向け、修正した計画を実行することができる。	
単位	1	03) 問題解決に向け、工程および予算を管理することができる。	
履修時間	30	04) 問題解決に向け、計画の進捗状況を把握・記録することができる。	
回数	15	05) 問題解決に向け、最後まで仲間と協力して行動することができる。	
必修・選択	必修	06) 成果報告に向け、問題の発見から解決までに作成してきた資料を整理することができる。	
省庁分類	-	07) 成果報告に向け、資料に基づき、問題解決に取り組む意義、方法、成果等を報告書にまとめることができる。	
授業形態	実習	08) 成果発表に際し、筋道立ったわかりやすいプレゼンテーション資料を作成することができる。	
作成者	白井雅哲	09) 成果発表に際し、聴衆を引き付けるプレゼンテーションを行うことができる。	
教科書	-	10) 成果発表を終え、問題点・不足点・今後の課題等を整理・報告することができる。	
確認者	高山寿一郎	評価方法	
最終確認者	井坂 昭司	①授業評価は「学習評価ルーブリック表」を用いて授業ごとに実施する。	
実務教員	○	②履修判定評価は「履修判定評価ルーブリック表」を用いて期末に実施する。	
該当DP	-	③個々の学生の成長を「学生成長評価ルーブリック表およびレーダーチャート」を用いて記録する。	
備考	設計事務所にて建築物の企画・設計業務を経験。企画業務でのプロジェクトマネジメント経験を活かし科目を担当。		